（明治卅九年九月十日第三種郵便物認可）大正五年四月十六日 THE KEIJO NIPPO 第三千八十九號（一）

京城日報

十五日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金[illegible] 三ヶ月金[illegible] 六ヶ月金[illegible]（郵券代用[illegible]）
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 卷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

○媾和聲明と羅馬法王

アムステルダム來電に依れば獨逸宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏及び英國首相アスキス氏が最近媾和に關し聲明する所ありたるに鑑み羅馬法王廳は媾和の見込に關し英、獨兩政府に或質問をなすに決せりと（倫敦電報）

○ヴエルダンの獨兵增加

巴里來電に依れば獨軍は露國方面より多數の豫備師團をヴエルダン方面に輸送し來れり故に益々猛烈なる攻勢を取るべしと豫期せらる（倫敦電報）

○聯合國對支態度一致

英佛露伊等聯合國側の對支態度は全部一致し南北兩軍に對して飽く迄不干渉主義を採り在支自國民の生命財産保護は日本政府に一任する事に決定せりと傳へらる（東京電報）

○上海獨立計畫頓挫

上海の獨立計畫は一頓挫を來し嚴正中立を恪守すべき事を決議せりと（東京電報）

○江西將軍宣言

南昌よりの來電に依れば江西省は十三日午後一時將軍李純氏の名義にて獨立を宣言したり（上海特電）

○今井博士招聘

今井法學博士は支那南方革命軍の法律顧問に招聘せられ渡支す可しと（東京電報）

○豫算編成期決定

政府は來年度豫算編成の時期を決定し十二月一日帝國議會の開院式を擧ぐる覺悟にて其れ〳〵關係官廳に通牒を發したり（東京電報）

○檢閲使一行通過

特命檢閲使伊集院海軍大將一行十八名十五日朝關門通過佐世保に向へり（門司特電）

○寺内總督告辭

京城專修學校開校式は別項所載の如く十五日午前十時より同校講堂に於て擧行されたり式場に於ける寺内總督の告辭左の如し

告辭

今回朝鮮總督府專門學校官制公布せられ茲に京城專修學校の設置を見、本日を以て開校の式を擧ぐるに至れるは本總督の欣幸とする所なり

惟ふに國家の隆昌は教育の發達に負ふ所多し、今や各種教育の機關殆んど完備の域に達し學校卒業者の數漸次多きを加へ、遂に專門學校設置の氣運に會す寔に朝鮮教育上の慶事にして邦家人文の發展に貢獻する所のもの蓋し鮮少ならざる可し抑も京城專修學校は法律經濟に關する專門教育を施し公私の業務に從事す可き者を養成するを本旨と爲す、教官たる者須く此意を體し、常に緊要適切の事項を授くるに留意し又務めて力を生徒品性の陶冶に致し質實勤勉至誠公に奉ずるの志望を涵養す可し、生徒たる者亦克く其本分を守り苟も浮華輕佻の風に陥ることなく規律を重んじ節制を旨とし空理空論を好むが如き弊に陥るは斷じて之を避けざるべからず

學校長は克く部下を督勵し生徒を率ゐ夙夜淬勵して本校設立の旨趣を完うせんことを期す可し一言以て告辭とす

●警務部長會同（第五日）

憲兵隊長警務部長會議第五日は十五日午前九時より總督府第二會議室に開催古海總長統裁の下に各隊部長より諮問事項に對する答申あり正午休憩の後午後一時より憲兵隊司令部會議室に再開、高等及び軍事警察に關する事項を議し午後三時散會す

●渡臺者出發

總督府學務局長關屋貞三郎、商工課長青木戒三、專賣課長平井三男の三氏は既記の如く十五日午前八時三十分南大門驛發汽車にて臺灣勸業共進會並に殖民地施政狀況視察の爲め臺灣に向へり、同驛には總督府內學務局、農商工部、度支部、會計課等の高等官數十名の外、東拓、會社、三井物産等よりも亦多數の見送りありき、一行は下關より因幡丸に搭乘の筈なるが渡臺後の日程は彼地の都合に依りて決せらる可く、臺地に於ける旅程は共同なるも歸任期は或は各別になるべきかと云ふ

●發明者表彰

總督府にては三月三十一日附を以て今津、室田兩氏の發明に對し左の如く表彰せり

中央試驗所技師 工業傳習所技師 今津明
苦汁よりブローム及び加里鹽を採集する方法を案出したるに依り發明奬勵の爲め特に金百圓を授與し茲に之を表彰す

中央試驗所技手 工業傳習所技手 室田武隣
作蠶布の精練漂白に一種の藥品を使用する方法を案出したるに依り發明奬勵の爲め特に金百圓を授與し茲に之を表彰す

●三國鐵道會議

五月一日より京城にて開會の筈なる日支滿鐵道連絡運輸會議は一日より九日迄の會期にて會場は未定なるが目下東京にて開催中なる日滿連絡會議に列席したる各方面代表者より大阪商船と義勇艦隊を除きたる東清、滿鐵、鐵道院、鐵道局の外に支那側よりの代表者加入する筈なり

●鮮滿急行時間改正

東清線は五月十四日以降滿鐵、鮮鐵は一箇月遅れ東清、滿鐵、鮮鐵三線に接續せる鮮滿直通急行列車は東清鐵道が時間改正を行ひたる爲め自然改正の必要生じたり東清線の改正時間實施は五月十四日よりにて長春發時間（左記總て滿洲標準時）

長春着 木曜 午後五時廿七分
長春發 金曜 同 一時廿二分

と成りたるより之に接續する滿鐵及び鮮鐵の改正生じ滿鐵は左の如く變更の豫定なり即ち南行にては

長春發 木曜 午後六時三十分
奉天着 金曜 午前一時二十分
同發 同 同 一時五十五分
安東着 同 同 八時五十五分

にて東清滿鐵接續時間に長春にて約一時間の餘裕あり更に北行にては

安東發 木曜 午後七時十五分
奉天着 金曜 午前二時四十分
同發 同 同 三時二十分
長春着 同 同 十一時五十五分

にて長春發北行の金曜午後一時二十分發二列車に接續する都合なり然して滿鐵の改正時刻施行は六月十五日よりなれば五月十四日より六月十四日迄は長春に於て若干の待合せを爲さざるべからず更に之に接續すべき鮮鐵の改正時刻は目下尚未定にて頻りに研究中なり又之に奉天に於て接續すべき京奉線は既に豫定時刻を決定せるも滿鐵の豫定時刻と接續せざる爲め目下好都合なる改正を爲すべく交渉中なりと

●苦力輸送繁忙

浦鹽にては例年本月より各種事業の開始期に入るを以て支那人勞働者多數を要するも本年は船腹不足を告げし爲め山東省苦力を芝罘より直接浦鹽に輸送するの便少なく苦力は何れも山東より仁川に來り陸路元山に向つて浦鹽に出る爲め朝鮮の元山浦鹽航路は苦力を滿載然も猶ほ不足を感じつゝありと

●師團著期變更

十六日午前龍山著の新設第十九師團の龍山著は十七日と定められ居たるも輸送上の都合に因り一日繰上げ十六日午前八時四十分龍山著となりたるが京龍各戸は歡迎の意を表するため當日は國旗を揭揚すべしと

●立花新師團長

師團長會議を終へたる第十九師團長陸軍中將立花小一郎氏は廿日午前八時四十分龍山著來任の旨決定せり因に同將軍留守宅は十七日頃長谷川町大觀亭に引移る筈

●補充憲兵數

十六日午前八時五十分著列車にて內地より到著光化門前なる新京城憲兵隊第二分隊廳舍に入り二箇月間教習の上各地憲兵隊に其々配屬せしむべき朝鮮駐劄憲兵補充員數は六百五名なりと既報せしも右は誤聞にて百五名なりと

●檜垣氏へ記念品

前京畿道長官檜垣直右氏は明治初年以來官に在る事四十餘年、官吏として稀に見る長生涯たりしのみならず併合後百事創拓の際京畿道長官の重任に膺りて能く今日の治績を擧げたり、然るに今回病氣の故を以て任を辭するに至れるより李完用伯、宋秉畯子、趙重應子、宇佐美長官、兒玉總務局長、吉原東拓總裁、原田朝鮮社長、金谷府尹、有賀京畿道第一部長、深尾事務官並に久水仁川府尹、奥田氏等の發起にて其の勤務を謝し併せて永遠に之を記念せんが爲め汎く官民有志を募りて記念品を寄贈することとなり目下有志者の募集中なるが醵出金額は勅任官三圓、奏任官二圓、判任官一圓にして民間亦之れに準ずる由、有志者は本月末までに有賀京畿道第一部長宛申込まれたしと

●柳、佐治兩氏別宴

京畿道及び道警務部の有志者は元參與官たりし柳赫魯及び水道主任佐治修三の兩氏を招待し十五日南大門通り青木堂樓上に於て送別午餐會を開きたり

●鮮銀の公債取扱

今回我政府の鐵道公債四千萬圓募集は既報の如く日本銀行其の他に於て事務取扱を開始し募集期間は來る二十一日より同二十五日迄にして額面は五十圓百圓五百圓一千圓五千圓一萬圓の六種なり朝鮮銀行にても日本銀行代理店の關係上近く一般に公告し之れが募集事務開始の筈なりと

●鮮銀支店長會議

勝田鮮銀總裁は來る二十日頃歸任の豫定なり而して銀行にては總裁歸著後各支店出張所長會議を招集する筈なるが多分開會は本月末ならん

●漢城鑛業の擴張 コールブラン氏近く來鮮

漢城鑛業會社遂安金鑛にては同社副社長コールブラン氏十四日米國より橫濱に上陸近く來鮮の筈にて其上遂安金鑛ミルス總長其他鑛山幹部と補亭新鑛、精鍊所增設擴張に關する協議を開く由なるが擴大に決せば電力部の膨脹其他に巨額の費用を要するを以て現資本金二百五十萬圓を五百萬圓に增加するか若くは在米國株主より相當借入金をなすか二途其の一を執るべしと

●兩青年會の提携 尹致昊氏を總務に推薦

朝鮮中央基督教青年會にては今回理事會の決議に基き尹致昊氏を總務に選擧したり是より先同青年會と內地人側青年會との接近は最も必要視せられ一時は內鮮青年會の合併問題さへも持上りたる程なりしが合併は時機尚早にして寧ろ兩青年會の和親協同を以て當面の急務なりとの意見多く客月來兩青年會の間に交渉委員を擧げて打合中なりしが愈々內地人會側よりは丹羽清次郎、松本正寬、渡邊暢の三氏鮮人會側よりは李商在、ブロックマン、尹致昊の三氏を名譽理事とし相互の青年會の理事會に出席して議決權は有せざるも發言權を與へらるゝこととなりたり之に由て兩青年會の提携を實現したるものにして是等有力なる代表者に由りて表面は合併せざるも實質に於ては早晩事實上の合併を見るに至ると觀測せらる目下鮮人側は七百內地人側は三百の各會員を有し各十二人宛の理事を設け居れり內地人側青年會が單に夜學校又は臨時の講演會或は職業紹介等の設備を爲せるに比し鮮人側は學校工業製作印刷等最も進步したる設備を著々進めつゝありと云ふ

●支那農業觀察團入京

十四日午後九時南大門驛著列車にて農學士許璇外北京國立農林學校生徒十八名より成る農業觀察團は內地より入京原金旅館に宿泊せり

●米國觀光團入京

米國觀光團十一名は十四日午後八時五十分南大門驛著列車にて長春より入京朝鮮ホテルに投宿せり

●大分視察團歡迎會

大分市の商工實業家三十名を以て組織せる朝鮮視察團は田中大分縣內務部長を團長として十六日釜山上陸の由は既報の如くなるが同一行は十七日東萊溫泉に休息の上十八日午前八時五十分南大門著入京の筈なり右に就き京城の大分縣人會主催となり同日午後六時より京城ホテルに於て歡迎會を開會原田商業會議所會頭、一ノ瀨南大門驛長其他をも招待する筈なり尚ほ京城府にては一行をパゴダ公園に案內し茶菓の饗を爲すべしと

●露貨下落す

東清、烏蘇釈線對鮮滿鐵道連絡貨物運賃換算率十三日より邦貨百圓に對する露貨百六十八留と協定されたり

●簡易實業開校期

要に京城學校組合會議に於て議決されたる日出學校內に簡易實業專修學校設置の件は目下其筋へ設置認可の申請中なれば遲くとも月內には認可の指令ある筈なれば五月一日より組織を變更して開校すべしと

仁川

▲仁川簡易商校廢止 仁川府廳にては仁川公立普通學校附設簡易商業學校は從來職員の配置設備の都合等不便を感ずる點少からざりし實蹟に鑑み昨年度限り之を廢止し仁川公立商業學校の附設に移して同校在職の專門教員を以て其の教授を擔當せしめ同校の教具も之を充用すべく其の筋に認可申請中なりし處去る十一日附を以て認可ありたり▲普通校豫算認可 仁川公立普通學校大正五年度豫算は此程認可ありたるが本豫算は歲入歲出共に七千三百六十六圓にして二學級增設豫算二千五百圓を含めるものなりと▲仁川聯合運動會 仁川の年中行事の一として仁川市民が唯一の安息日たる各學校聯合運動會は愈々本月第二日曜頃を期し催す事に決定したれば十五日午前十時より各校長學校組合議員等府廳樓上に集會し期日、運動方法、觀覽席取締方法等諸般の打合せを爲したり

元山

▲道路大修理準備 元山市內各道路は土質の關係上雨雪の際は泥濘甚しく通行者の苦痛一方ならざるものあるを以て當局に於ては年々少からざる費用を投せしも從來實施したるが如き一時的撒石位にては到底完きを得る能はざるより遂に今回半永久的施設の計畫成れり即ち道路面約一尺の深さに土砂を取除きたる上を一面に一尺徑の角石を敷き詰め尚ほ二層より成る砂石を以て路面を堅めんとし最初一等道路の本町筋に之れが實施を計るべく目下道廳に申請中の由而して元山府の管轄に屬する道路中に於ては先づ本年度內に旭町筋鰲谷商店前より大東館前に至る間に實施の豫定にて現今諸般の準備中なりと▲天候と麥作 元山附近に於ては近來空氣の乾燥著しき爲め麥類の發育良好ならざるが如し然れども今後に於て雨量と氣溫の適宜なるを得ば作況尚ほ悲觀するまでもなかるべしと▲郵便局員の表彰 元山郵便局在勤の職員中二箇年皆勤者十五名と一箇年皆勤者十六名に對し皆勤表彰の爲め十二日正午同局長室に於て局內の組織に係る元山遞郵協會より其れ〳〵木杯を授與したり▲豐漁の鰊 元山近海に於ける鰊漁は目下極めて豐況を呈し加ふるに本年は浦鹽及び亞米利加方面よりの輸入なき爲め斯る豐漁にも拘らず一駄三十圓乃至四十圓を上下しつゝあり而して元山近海客月中鰊の漁獲總高は十五萬圓に達し居れりと▲出稼と露貨 元山より露領浦鹽方面への出稼鮮人數は年を追ふて增加の有樣なるが昨年中に於て鮮人の出稼に依り元山に流入したる露貨は其額一萬九千五百卅九留に上れり

大邱

▲各港出入貨物 慶尚北道東海岸甘浦、九龍浦、浦項、江口の諸港に於ける大正四年度中の物産移出入は甘浦港移出價格十萬九百九十八圓移入十一萬六千二百八十九圓、九龍浦港移出二萬四千百十六圓移入十萬九千九百三十圓、浦項港移出四十萬三百八十圓移入七十七萬一千八百七十五圓、江口港移出四萬五千五百八圓移入十九萬一千六百十八圓にして移出總計五十七萬一千二圓移入總計百十八萬九千七百十二圓なりし

▲鈴木慶北長官歸期 谷道長官會議の爲め出京中なる鈴木慶北道長官は十七日午後四時六分の急行車にて歸任の豫定なり

釜山

▲在庫穀物高 釜山港に於ける三月中在庫穀物十五萬九千百四十五圓の內譯 釜山共同六八、一〇三四 內譯中白米九二九支米五九、〇一〇四、八一七小麥三一〇豆種二七一十雜穀三二〇明野麥九一、〇四二內譯中白米一二、六九六玄米七七、七〇九四五二二四二一小麥三、六〇〇豆類六七六雜穀一一九〇圓なり 而して米價の往來變動なく故に倉出し又產地よりの出廻り共に稀薄なれば頗る閑散なり▲米商の別府行 既報の如く釜山穀物市場は本年十一月を以て滿十周年に相當するを以て此記念日を如何に祝すべきかに就き協議中なりしが愈々來る廿二日夜行の連絡船にて別府に遊び同地に二泊の後歸途大里精糖工場同精米所、サクラビール會社等視察の上廿五日頃歸釜の筈なりと因みに參會員七十餘名の見込なりと▲功勞表彰式 釜山學校組合十年以上勤續職員傭人に對し功勞表彰式を十六日釜山公立商業專修學校に於て擧行す其表彰者人名左の如し

▲商女校長高橋[illegible]▲同教諭[illegible]三科こと▲第一尋常校[illegible]▲第四尋常校[illegible]▲同古原八郎▲同堀山きみ[illegible]

人事消息

▲ドーヘーチー氏（米國商人）十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲マクロスキー氏（同）同上
▲マツクロング氏（同）同上
▲ヘンデル氏夫妻（同）同上
▲セイレク氏（同）同上
▲ミス、ローンス嬢（米人）同上
▲チンルツタキー氏（英國商人）同上
▲オイセン氏（上海稅關長）同上
▲岩尾治平氏（肥前香蘭社本店支配人）十四日夜南尾旅館投宿（岩尾修助氏は誤り）
▲小原新三氏（忠清南道長官）十五日赴任
▲李圭完氏（江原道長官）同上
▲渡瀨常吉氏（牧師）十六日公州へ赴き十八日歸京の筈
▲宮木又七氏（全羅南道長官）十六日朝歸任
▲中瀨熙氏（咸南長官）十五日午前出發歸任
▲安又三郎氏（鐵道局參事）十五日朝平壤より歸任
▲平井晴次郎氏（支那鐵道顧問）十五日朝通過北京へ
▲井出治氏（監獄事務部長）十五日朝平壤より歸任
▲佐藤小太郎氏（第九師團參謀長）同上
▲島山虎太氏（平壤覆審法院長）司法官會議列席の爲め十五日朝通過東上
▲向井嚴氏（平壤覆審法院檢事長）同上
▲河原通之助氏（同地方法院長）同上
▲高北吉氏（九州大學教授）十五日朝南大門驛發列車にて元山へ

平昌地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
理事坂本昇ハ大正五年參月拾五日辭任シ大和里ノ江原道平昌郡大和面四里統九戶今村庄次郎理事ニ就任セラル
大正五年四月壹日登記
原州地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
出資口數ヲ四百參拾九口、出資ノ總額ヲ壹千壹百六圓トス
拾錢ミタルトス
大正五年四月拾壹日登記
京城地方法院原州支廳

物品購買公告
一 大豆 貳千貫
右入札ノ上購入ス入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上トス入札者ハ本府內ニ於テ地方費年額二十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル入札ヲ希望スル者ハ本府第二課ニ就キ入札心得書等熟覽ノ上本月二十九日午後三時迄ニ入札スヘシ即時開札シ同會計係ニ於テ契約ス
大正五年四月十四日
京城府
京城府尹 金谷充

廣告
今般第十九師團新設並第十九師團長來任ニ付歡迎ノ爲メ歡迎會ヲ開催致候ニ付テハ左記御承知ノ上御申込相成度候
一 會費 [illegible]
一 日時 四月二十三日午後一時
一 會場 龍山鐵道公園
一 申込所 京城府內務係及京城府龍山出張所
一 申込期限 四月二十日正午限リ
大正五年四月十四日
第十九師團歡迎會發起人 金谷充 原田金之祐 趙鎭泰

タリヤ
京城南大門外竹添町二丁目
千草園分園
目錄無代進呈 實費分讓

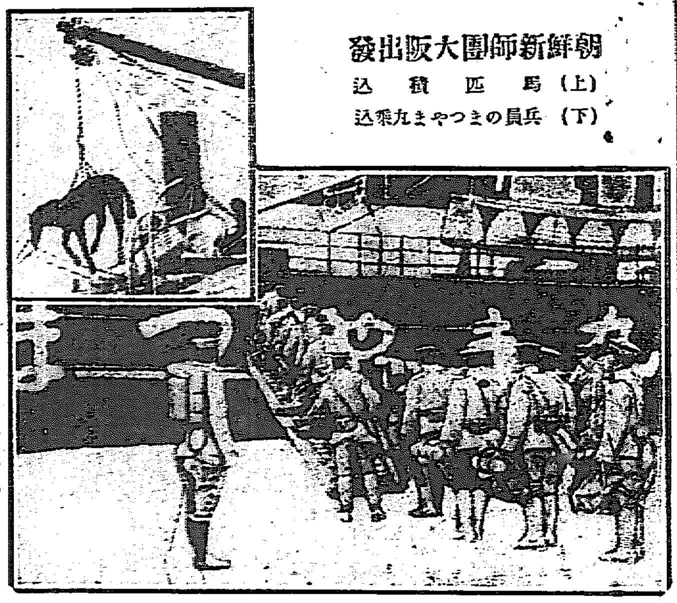
愛畜家諸賢に急告
今般新に發明せられたる狂犬病豫防注射を開始す
京龍間は電話にて御一報次第又は仁川水原其他の地方にも御希望に依り往診注射の需に應ず
京城狂犬病豫防注射所
京城本町二丁目 電話長一九〇三

値段技術勉強地方は送料頂きません
京城寺座前 電話二七三
振替口座京城二三六七

齒科開業廣告
永らく仁川病院齒科部に勤務致居候處今般左記の所に開業し私儀より專ら齒科診療に從事す
仁川山手町穴門通
東京齒科醫學士 飯塚喜四郎
電話三五〇

通信教授
九星舘 宮家 目黑 東京本郷 砂町

製材機械原動機
其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目電話一〇四
中根商會



朝鮮新師團大阪出發
(上)馬匹積込
(下)兵員のきやつま丸乘込

◎濱離宮の觀櫻御宴 來る十九日午後二時半

天皇、皇后兩陛下には御例にて觀櫻御宴御催しの爲め來る十九日午後二時半宮城御出門濱離宮に行幸啓あらせらるべき旨仰せ出されたり(東京)

◎三機何れも故障著陸 卒業飛行の第五日目

卒業飛行第五日目の十三日有川隊長自ら飛行將校を指揮して準備をなし折柄節岡、元箱根の各地より天氣晴朗を報じ來れるを以て七時十七分モ式第二十四號の阪口中尉先づ出發、同二十三分モ式第十九號の竹宮中尉其後を逐ひ兩機節岡を指て飛び去れりかくてモ式第二十四號は十時十五分蒲原町を通過せしがガソリン缺乏のため同四十分節岡縣安倍郡千代田村字上足洗の麥畑に著陸せり之より先き十九號も途中ガソリンに不足を生じて箱根より引返し午前九時二十分酒匂川海岸に著陸しガソリン補充の上十時二十分節岡に向け出發せしも再び箱根より酒匂川に引返せりまた前日酒匂川原に露營せる益滿少尉の十六號機は十三日午前七時十分離陸し二子山の南を掠めて節岡に向ひ同五十分箱根を越え漸次行路を海岸に取りたるに急に發動機に故障起り動搖甚しく測度針は吹飛ばされガソリンタンクは破れ普通ならば廿分にて達すべき沼津までを一時間を費して途中片濱村附近にてプロペラーの一部裂けて飛び全く操縦不可能となりたるより八時半原町製絲工場なる畑中に著陸したり此急報到りしより所澤よりは直に豫備の發動機推進機其他修理材料を鐵道便にて送り節岡よりは井澤中尉急行小田原にありし伊庭中尉又自動車を飛ばして原町に急行したり(所澤)

◎突然現はれたる黑き船影 停船を命ぜられた鳥取丸

郵船會社歐洲航路臨時船鳥取丸は神戸に入港したり同船は去る三月上旬台灣海峽を回航しつゝありし折海軍哨戒軍艦の爲め停船を命ぜられたるが今回同船に就て詳細を聞くに當時鳥取丸は各港に寄港し積荷を收め正に前記臺灣海峽に差蒐りたる際突然前方遙かに黑き船影を認めたるが該軍艦は俄に鳥取丸の前方より後方に回航し來り頻りに注視するが如き有樣なりしかば速力を早めて進行中盛んなる發火信號と砲とを放ちて停船を命じたれば本船は直に停船其の國籍を明かにし何故の臨檢なるやを詰りたるに双方日本船なること判明したるを以て軍艦よりは近來敵艦の出没せるやに聞く航行中注意あるべしとの挨拶を受け別れたるが當時上海に抑留中の獨國汽船ボヒミヤ逃走の噂ありたるに依り警戒中本船を同船と見誤りたる次第ならんと(神戸)

◎京城專修學校開校式

朝鮮最高の學府たる京城專修學校は四月一日から專門學校に昇格され改めて十五日その開校式を擧行した、此の日寺内總督は森副官、武官、大庭副官を隨へて臨席總督府よりは宇佐美長官、小田編輯課長、秋山課長、大田警務部長、また司法官側よりは渡邊高等法院長、鷲尾同院長、中村覆審法院檢事長、岩本地方法院長、松寺地方法院檢事正等の人々其の他趙重應、柳重叫兩子爵、水越鮮銀理事、豐永工業專門學校長、金谷府尹、松井署長、成田女學校長等の來賓もあつた斯くて式は午前十時

▲君ケ代の唱歌 に始まり寺内總督は起ちて一場の告辭を朗讀し學生一同に對して專ら法律經濟に關する學習に勵むと共に品性の陶冶を怠らず空理空論を避けて常に質實勤勉なれと訓へた、次ぎに渡邊高等法院長と水越鮮銀理事の祝辭があつて式を了り、來賓及び生徒一同は校庭にて記念撮影をした此の學校は從來京城專修學校の名稱はそのまゝにして

▲組織を改めて 昇格したのであつて全校生徒百四十名中第三學年の四十三名と第二學年の四十一名は前學校より引繼ぎ第一學年生は高等普通學校卒業生の無試驗入學者廿一名と他に三百六十一名の入學志願者中より選拔した生徒三十五名とである、出身道別にすれば京畿道の四十五名が最も多く出身學校は高等普通學校、私立中學、公立農業學校、商業學校の順序となる、年齢は三年生の最少一八歳から最高卅一歳半均廿一歳となるが有髯朝鮮學生だけに

▲九割は既婚者 である、また父兄の職業別を見れば農家の子弟が九割方を占むるのも朝鮮では當然な次第であるが水越鮮銀理事の祝辭の中此の學校の卒業生は在校中法律經濟を學びながら主として裁判所判事、書記、通譯生となる者が多く經濟界に働らく人に乏しいのは遺憾であるがこれも從來の朝鮮が斯る方面に卒業者を要求したからの事であつて將來は大に實業界に出て貰ひたいとあつた

專修學校開校式に臨める寺内總督

◎憲兵拳銃情死 女は即死男は重傷

新義州旭町料亭大丸抱へ藝妓綾子の久保田たま(一七)と云ふは昨年十二月より平北昌城邑内なる藤旅館の女中として雇はれ間もなく同地駐在の憲兵軍曹宇野音藏(三七)と情を通じ、爾來屢々密會するに伴れ二人の情交は益々濃厚を加へ行く間如何なる動機にてか去る三月三十日午前音藏は例の如く藤旅館に赴き情婦たまと二室にて何事か密に話を爲し居たるも家人は別に之を氣にも留めざりしが突然二發の銃聲起りたるより只事ならじと驅付け見ればたまは頭部を擊たれて即死し音藏は我と我胸部を擊ちて淋漓たる鮮血に塗れ苦悶し居るにぞ即時醫師を迎へて應急手當を施せるに音藏のみは其後漸次快方に趣き遠からず全癒する見込なりと云ふ

◎什麼洪水=でも大丈夫 蘆島の未墾地開拓事業 小作希望者が競うて現れる

東洋拓殖株式會社の未墾地開墾事業として去る大正元年の秋九月から工事中であつた蘆島面長安坪の堤防工事は昨年七月全部竣工して今年いよ〳〵

□移民契約 を締結し來年は廿戸許りの移民を容れる豫定である、十四日野田副總裁、關屋土木課長、松田蘆島出張所長、秋山殖産課技師の一行は親しく同所の開墾地を巡視して歩いたが彼の

□嵯峨山麓 を流れる箭串川の流れは美事に高さ百廿尺の大堤防に堰かれて山麓一帶の平野四百二十八町歩は悉く肥沃なる美田と化した由來蘆島の地は沖積壤土の

□肥沃地味 であるけれ共何分にも毎年夏期の洪水に押し流されて長安坪の如きも從來耕作地として顧る人もなかつたのである、それが延長九千四百五十間の

□大堤防に 圍繞されて何ら洪水にも大丈夫となつたから昨年の如きも小作希望者が競うて現れ東拓の方でも謝絶するに困つた程である、東拓で此所に投じた工費は三十二萬三千圓、平均一反歩

□八十餘圓 の地價となる、それに昨年の大水害で堤防の所々に潰決した箇所もあつたが再び腰を取揃げて今では完全な設備となつた、また中央は大きな閘門を以て河流をも取圍むで居るが、

□開墾地中 の畓百卅四町歩、田二百九十四町歩の間は用惡水路四方に通じ凡つ二三段歩あてを一區劃とした耕地整理も出來て居る灌漑の水は遙か箭串川の上流から引き入れてあるが、

□移民の家 は河を背にして建てられる筈、猶ほ川向ふの山は移民の植林地に當てる計畫、昨年の收穫は上の部で三石六七斗、下の部で一石五六斗であつた、京城にも近き此所の移民は將來非常に幸福な事であらう

◎危險な自轉車乘

京城黄金町三丁目佐藤某方雇人崔弘成(一七)は十四日午前八時半頃本町通り日韓書房前を自轉車にて疾走中折柄通行の西小門三浦某女(三七)に衝突して負傷せしめたる騒ぎに驚き駈付けて最寄醫院に擔ぎ込みて加療中

◎觀世素謠會

十六日午前九時より旭町三丁目長榮寺に於て觀世流京城支部素謠會を催す番組左の如し

右近、忠度、熊野、鞍馬天狗、吉野天人、嵐山、田村、西行櫻、櫻川、小鍛冶(番外)、鉢久(野尻改吾)

◎冷遇されて立腹

龍山彌生町紹介業山木佐吉(三〇)は數日前夜桃山遊廓中方に登樓遊興中酌婦田村おなを冷遇したりとて立腹しなをの所有なる湯呑外二三點を叩き毀したる上賠りの駄賃に同娼妓所有の謡曲本一冊(一圓六十錢)を持ち歸りたる爲め元町派遣所にて取調べられたり

◎恐喝未遂は執行猶豫

元總督府囑託たりし大谷正三郎の誣告及び恐喝未遂に關する一件は十三日京城地方法院に於て懲役六箇月二年間執行猶豫の判決となりたり

聲樂から見た朝鮮の歌

△聲音と實際生活の關係
△上辷りのした朝鮮の歌
山下碩子孃の談

朗らかなる春の日に障子の外で小鳥等が此の若き藝術家を賛じ歌つて居る柴田環女史など、聲樂界に覇を爭つて居る人なぞ、何うしても見えぬ程娘らしい風に壁は語り難く一體學校でも聲樂の方は極めて少ない上に私なども三人一緒に卒業しましたが恰度其頃先輩の人々は結婚しなさるし一緒に卒業した中の二人迄同時に田舎へ行かれたものですから聲樂界は非常に寂しくなつたのですが今年は又三人卒業生があつたから此れから再び

□聲樂界 は賑ふだらうと存じます西洋の人々は結婚された後までも矢張り衰へずにやつて居られます日本の聲樂家などは結婚すると大低それが終りになつて終ふやうでございます最も柴田さんなどは別ですが凡て日本の家庭の事情などが不斷練習を續けると云ふ事に不便な爲めで有らうと存じますそれでなければ結婚したからと云つて急に聲帶に變化の來ると云ふ理由は無いのですから——と孃は深い自信のあると云ふ風に——生活と聲とは非常な密接の關係を持つて居るのですから女流の聲樂家などは充分妻の務めに對する理解を持つて居る良人でなければ不可ないと思ひます、生活と聲の關係と云ふ上から私は

□朝鮮の 聲樂に就て感じた事を述べて見ます、最も私は此方へ參つてから内にばかり引込んで居つて餘り外出しないものですから此方で朝鮮の歌を聞いたのは至つて少ないのですが東京に居る時はよく朝鮮の歌謡を聞いた事が有りました只今も申上げた樣に人の音聲は其の生活が純潔であつて高い

□憧憬と 人生に對する強く深い悶え又は歡喜を持つた——要するに深刻なる生活味を味つて居る者でなければ其の音聲には何等深みも巾も有りませんのでせう生活の方面から私は朝鮮人を研究した事は有りませんけれども其の歌ふ聲と其の歌とを聞いて居ると如何にも上づつた深刻な處が少しもない強いあこがれもなければ深い悲みもない

□憂愁な 調子は帶びて居つても聞く者をして共鳴せしむるトーンがあまりに弱い樣に思はれます此の點から私は其の歴史や世態人情などが深刻でないと云ふ樣な事を直感いだしました——と能辯では無いが孃の藝術的生活は其の一部を語つても直ちにそれが藝術談として聞くべきものゝ多いのを感ぜしめられた(たけり)

▲優良種禽雛種卵
本年度營業案内書一報次第送呈す
京城西四軒町 各道廳各畜産組合御用達
赤荻養雞場
電話二百十七番 振替京城三三七九番

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三
◎新派喜劇 子賓 ◎泰西活劇 海 ◎伊太利アクイラ會社大傑作 狼 全四卷八千五百呎 ○人の運命 ○小櫻 ○喜劇 誠

本町 壽座 電話五七八 四月十六日(三日目)
▲改正義團一行 浪花節 △當題

黄金町 黄金館 第三六春季特別大興行 電話二六三七
軍事探偵大活劇 第三プロテア

◎プロテア 決死の卷六卷

◎卅三間堂 棟木の由來 四卷

御成町 御成座 電話二九一
喜劇 女のつとめ

壽町 壽館 電話一〇五〇
◎卅三間堂棟木の由來 全四卷

明治町 浪花館 電話二六〇番
◎大阪女義太夫本家 竹本昇竹本伊達若合同大一座來る
▲御祝儀(竹本入登) ▲二十四孝四段目 ▲梅野由兵衞 ▲朝顔日記宿屋の段 ▲日吉丸三段目 ▲段目 ▲三勝半七酒屋の段 ▲源平四段目 ▲寺子屋の段

クスリはホシ
此外道藥四十餘種各地藥店にあり
ホシ風藥
引風發熱等 定價十錢、二十錢

消化新藥
柏木ギアスターゼ
糖化力最強にして効力常に一定す
發賣元 大阪道修町三 岸田市兵衛 大阪平野町二 田邊元三郎 東京本町四

内科小兒科 入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目 小林醫院 醫學士 小林千 電話六九二番

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品
京城南大門外鐵道踏切側 今本醫院 電話二八五二番

タングステン高價買入れ仕り候
一重石鑛(十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候)
一優良なる(七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候)
一重石鑛主(にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候)
一弊店は(唯だ重石鑛のみ希望致し候仙價額は充分の御相談仕るべく候)
京城貞洞二十五番 ジヨージ、アーレン商會

顧問 高島平三郎先生
幼年雜誌 良友
コドモ
五月號出來
尋常小學生徒の最も好い讀み物 一冊十二錢 六十六錢 一圓廿五錢
「コドモ」は(以下判読困難) 良友は 全國書店にあり 本社へ申込あれ
東京小石川林町 コドモ社 電話番町二六一 振替東京二九一
まじめで有益な 見ても面白い

洋傘 紳士用 ステッキ傘 婦人用 女學生用 女兒用
東京 塚谷出張店 京城本町三丁目 電話番號京城三九三

◎名古屋城建物賣却廣告
堤町二丁目日本メソヂスト京城教會所屬建物一式ニ付キ四月十九日午後二時同所ニ於テ入札執行ス希望者ハ十八、十九ノ兩日現場熟覽ヲ乞フ

……として其後同地官民……より告訴状を提起し過日新義州檢事分局より犯罪事實明白となりしを以て拘引状を發せられ前記三名共に新義州に護送……
……進行中折柄京城仁孫洞成田某方平林留吉（三）は一頭の牛に材木三本を負はせ……勞働車允興（三）は龍山大島町より……宅の途中兩三日前夜酩酊の餘り大島……遊廓井上友太郎方に登樓し……代金九圓……

地洋丸遭難外客の談
御幣を擔ぐ金曜日　四顧暗黒の海の中

香港を距る二十哩レマ群島の内カムカン島に座礁沈没したる東洋汽船地洋丸乗組遭難者二百六十六名の内高級船員の外百六十六名は英國汽船イースタン號に便乗神戸に入港したるが遭難者中に十二人米國人旅行團あり其一人バクトスン氏は遭難當時の實況を語りて曰

▽三月卅一日の午前四時二十分頃の事であった、（ドシン）にして自分は前後も知らず（ギーン）と云ふ震動を感じて目がパッと覺めた、何事の起りたるかと考へる間もなくゴットアグラウンド（坐礁）の叫びがキャビンの廊下に反響したので自分は

▽寢卷の儘に刎ね起き一散に上甲板へ飛び出して見ると遥く前方の山の如き岩島が眞黒く舳の先に兀立して船よりも遥かに高い、宛然黒悪魔の仁王立に舵立った様だ、而して船首は此岩島に向ってウンと頭突を咬まし船體の四分三は暗礁に乗上げて居るではないか

▽サー一大事だ生憎白人の御幣を擔ぐ金曜日ではあるし折しも漆黒の暗夜でもあるし二百五十名の同乗者は誰しもタイタニックの往事を想ひ出さずには居れなかったらう吾輩とても實際餘り好い氣持はしなかった濃霧の爲に坐礁したと云ふ説もあるが自分の眼には

▽只四顧暗黒なるのみで霧らしきものは別に認めず又風浪もなく海上は極めて靜穏であった愈々坐礁と定ったので自分は急ぎキャビンに駈け降りて手早く重要品を取纏め衣服を引っ掛けた此時「總員上甲板」の

▽號令が耳鼓を衝いて下ったので帽子を冠る暇もなく救命帯を著るが早いか露頭の儘再び甲板に跳り出で見ると鮮船の乗客が遑惶なく眼前に描き出されパンジャブ（寢衣）にスリッパを穿た紳士ドレッシング、ガウンに膝掛を被りたる淑女など一人も満足の服装を認めない、而して荷物は一切持出すことを許さないから何れも著のみ著の儘の手ブラである、此前から非常汽笛が暗を劈いて激しく吹鳴され又た狼煙を打揚げ無線電機は青き火花を散らして速かに救助を求めた、聞けば香港を距ること

▽十浬の沖合で乗上げたる岩島はリム島と稱せられ水深は六十尋で恐ろしく深い、聽てボート降下の命令ありて婦人小兒を先頭に乗客一同ソレ〲救命艇に收容せられたが自分の乗りしは右舷の一艇で之に二十五人乗り込むだ乗客には格別狼狽の模様なく又船員も固く各自の職務を守り

▽乗客に親切であった事は茲に一寸言って置きたい、所で各自がボートに收容されたが容易に海面に降さない彼此小半時間宙吊の體當は自分も腑の緒切って以来初度であった、搭て地洋丸の無線電信は香港近海巡邏の英艦に感じ驅逐艦ワイチングは遭難後一時間半即ち午前六時半海面を二回巡邏したさうで今しも香港に歸還の途中無線電信に接し倉皇駈け来つたとある

▽現場に到著した、後で聞いて見ると驅逐艦は同夜遭難地附近の海面を二回巡邏したさうで今しも香港に歸還の途中無線電信に接し倉皇駈け來つたとある斯くて海軍將校一名地洋丸に乗移りて船長ペントと打合せありて後救命艇は全部驅逐艦を目覺けて漕ぎ寄せ一同艦内に收容せられた（神戸）

臺灣の暑氣
八十四度五分を示す

過日來不順なりし天候回復して遽かに暑さを催し街路を行交ふ人も綿入より浴衣の早變りと云ふ有樣なるが本月五日の最高氣温は五十九度九、六日が六十四度一、七日が八十一度三、八日が八十四度五と云ふ暑さを示し五日の最高氣温と八日のそれとを比較すれば實に二十一度四と云ふ差を示して居る（興北）

冬著の保存法
藏ひ込む時の注意

和服は口綿若くは袷洋服は合服の時節となりましたから多くは一先づ用がなくなったのです初め袷も綿入でも

△絹物▽ 襟や膝の汚を上等の揮發油で拭き一日蔭干にしてから又木綿物は矢張揮發油で綺麗にして天日に晒してもよい斯してからはフキの崩れない樣に疊み簞笥に和紙を敷き木綿物は兎も角絹物は新モス或は白金巾の如な濕氣のない布に包んで藏ふ而してナフタリンを隅に置けば蟲除になりますナフタリンの香を嫌ふ方は干唐辛で充分です

△洋服▽ も揮發油で汚目を拭き絹物と同樣蔭干にしますが地が毛織物ですから絹物よりも一層蟲が附き易う御坐います故に蟲の眠がる新聞紙に包んで其上に又ナフタリンを置くがよい

△半襟▽ は少しの汚ならば揮發油で拭き其跡に吸取紙を當て油氣を抜きます汚が烈しかったなら揮發油で靜に揉みながら洗ひます而して絞るといけません唯兩手の掌で押して油を去り尚ほ元の如く掌で押せば自然手の温度の爲に乾きます尚又兩端を縫ひ合せ輪にして少しづゝ廻しながら濕のしをすれば油の香が失せます

△京城▽ は火事が多いので近頃はイザといふ場合に便利の爲に柳行李に衣服を了ふ方がありますが行李は隙間があるので蟲が附き易い之を防ぐには中を紙で能く張り且つ直に置かず下を風の通るやうに臺をすれば宜しい

△帽子▽ はブラシを掛ける時は毛をねかす心持ちで掃くやう、また夏中に二三回は必ず蔭干しをする事、内部のすべ皮は成可く取外して置く方がいいのです。ナフタリンの香は二三日干せば無くなります。けれどナフタリンの香を嫌ふ方には樟腦を澤山使ふとよろしい何方かと云へばナフタリンの方が効能があります。

宗教界消息

▲龍山日本基督教會 十六日午前八時半日曜學校同十時禮拜說教「人類の四大恩人」伊藤牧師同午後八時傳道說教「三ツの十字架」鈴田武者講氏十七日より廿日迄毎夕八時受難週特別集會

▲長谷川町京城日本基督教會 十六日午前九時日曜學校同午前十時禮拜說教郡山牧會鈴木牧師午後八時福內牧師傳道說教「十字架の左右」

▲メソヂスト教會（旭町二丁目） 十六日午前八時四五分日曜學校同十一時禮拜說教「思ひ出で多き古屋敷」藤井牧師午後八時傳道說教「救の門」樹井師吉君メソヂスト教會は十六日の禮拜を最后として教會の新築に取りかゝる事となれり

▲救世軍の集會 十六日（日曜）午後八時永樂町二丁目通居内「我來れり」村島大尉

▲青年會講演 南大門通一丁目京城青年會にては今十六日午後二時より左記二氏を聘し精神修養に關する講演會を催し大に青年子弟の士氣を鼓舞奨勵するに努むる由と「滿州の旅」渡邊暢氏「偉大なる力」エス・エ・ベック氏

花の咲く迄（1）

播種床 種子にも種々の性質があれば播種も其によりて方法に相異がある細かい種子や大事なものは種子鉢で蒔きます。大きなのや左程大切でないものは地床で蒔くのです。種子鉢は淺い鉢即ち深さ二三寸のもので底に三つ乃至四つも穴が明いて居る此は瀬戸物屋に行くと賣って居ます苗床は花壇又は畑の一部を以て此に當てるのです

播種土 此の鉢にする場合には肥料分の餘り無い細土を細かく碎いて篩でふるひ之に川砂（鹽氣の無きもの）三分を混じたのを用ふるのです其から苗鉢の底には荒い土を敷いて水はけの善いやうにする而して右の篩ひ土を鉢の八分目位入れて其上に種子を蒔き萬遍なく並べ輕く土を振り掛ける種子が隠れる程度で可いのです此が濟んでから目の細かい如露で十分に水を灌ぐのです決して種子の浮出したり流れ寄ったりするやうにしてはならぬ

家庭

回鳥肉の薄衣 鳥の上肉の白身をうすめのそぎ身になし、ヘット及びメリケン粉を水にて溶きこの中へ玉子をいれてどろ〲になし、前の鳥の身をいれて胡麻の油にて揚る、汁には醤油に鰹出しをわりしものを小さき皿へいれて添へる

商況

東京株式特電

十五日	前場寄付	大引
日本郵船	一八七、七〇	[illegible]
鐘淵紡績	一五九、〇〇	一五九、一〇
[illegible]	一三三、五〇	一三三、五〇
日清汽船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株第一	[illegible]	[illegible]
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第一	[illegible]	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

債券現物特電（前日との比較）

十五日前場寄付 東洋拓殖 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮瓦斯 南滿鐵道 …… [illegible]

公債直取引特電（前日との比較）

十五日前場寄付 五分利 甲號 四分 …… [illegible]

深川在米特電

十五日現在高 內地米 朝鮮米 …… 九九、〇〇 ……

東京期米特電

十五日前場	寄付	後場
當限	二四、七一四	[illegible]
先限	一九、九三	[illegible]
六月限	一九、八六	[illegible]

大阪期米特電

十五日前場	六月限	後場
高值	一四、二〇〇	[illegible]
安値	一四、二〇〇	[illegible]
寄付	一四、一四	[illegible]
止め	一四、一六	[illegible]

下關期米特電

十五日前場		
當限寄付	一三、六六	[illegible]
中限寄付	一四、九三	[illegible]
先限寄付	一四、三六	[illegible]

大阪株式特電

小相場思ひに利喰ある〱新期貨の割弱きも仲値悩む

銘柄	前日	十五日後場
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
阪神電鐵	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十五日前場	寄付	大引
三月限	二八、五〇	二八、五〇
四月限	二八、二〇	二八、二〇
五月限	二八、五〇	二八、〇〇
六月限	二八、〇〇	二八、五〇
七月限	二九、五〇	二九、七〇
八月限	二九、〇〇	二九、八〇

朝鮮物産特電

品名	相場
馬山大豆	[illegible]
釜山大豆	[illegible]
木浦大豆	[illegible]
元山大豆	[illegible]
城津大豆	[illegible]
鎭南浦大豆	[illegible]
長城大豆	[illegible]
仁川小豆	[illegible]
釜山大豆	[illegible]
群山大豆	[illegible]
木浦白	[illegible]

雜報

●製粉强弱區々 製粉狀況は現角に頭頂の商狀を示し九井より實出し來り民衆の手持ちも次第に減少して大製粉品の……[illegible]

●紙價現狀維持 ……[illegible]

●前値を蹈襲 ……[illegible]

●羊皮漸次强硬 羊皮は英本國の需要增加と共に……四五割高……[illegible]

●多少の變動 ……[illegible]

●セメントの昨今 ……四圓十五錢乃至二十錢……二三十錢賣を敢行しつゝある向もあり

●林檎梨は好氣配 林檎は産地に於て……最終……約二三十錢高の唱へなり

確實 迅速 仁川港町 取引所仲買人 ㋮ 福島三太郎 電話六二〇番

下關相場

▲朝鮮白米は先づ保合…… ▲小豆は……四百五十叺なり ▲大豆は依然氣強し……[illegible]

京城正米

品名	相場
朝鮮一等白米（常用）	十三圓五十錢
同二等白米（常用）	十三圓[illegible]
同	[illegible]
長湍大豆	[illegible]
深川大豆	[illegible]
元山大豆	[illegible]
同大玉上品	[illegible]
瑞川豌豆大豆	[illegible]
永洞大豆	[illegible]

前日來保合の市況ながら人氣は稍堅……

仁川期米

十五日	大阪	
玄米	一八六十錢	
胡麻	一〇〇	
大豆	七六	

▲十五日前場五錢高の入舟 ……
▲寄付高直顔合 ……
▲頭重き成行 ……

市場零聞

▲前場頭重し ……
百石の解商内行 …… ▲中限に千五……

▲伸び止まり乎 ……賣買に存外伸び悩み ……

仁川米豆取引所仲買人 海岸町一丁目 三巴仲買店 電話二三三一

▲汽船株 ……

北濱だより

▲時期待ちの株界 ……

南大門の廻穀

品名	数量
天安穀	一三三叺
水原玄米	二一六叺
平澤玄米	二一六叺
安城玄米	二一七叺
小井里大豆	[illegible]
平澤玄米	[illegible]

京城雜穀

小麥は過日來……

仁川現物市場

▲穀入荷なし ▲正米入荷六百叺……

釜山穀物市場

▲正米（政府）……▲大豆……

行貨仲買店 ㊂ 仁川港町 電話一三三三

▲約五十丁安……

▲包裝問題 ……群山回漕と米叺……群山檢米所……檢査所の存否……

仁川米豆取引所

十五日の六月限

	寄付	前場引	後場寄	大引
高値	十一圓二十四錢	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

賣買取組高

四月限	二百石
五月限	一萬三百石
六月限	三萬九千七百五十石
出來值比較	前日と比較
十四日後場	二、一二七 二高

物品購買公告

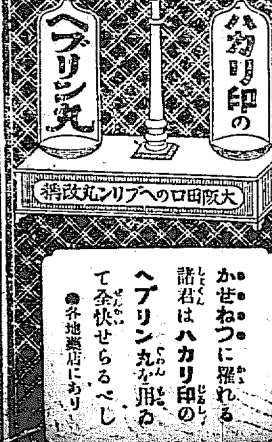
一、大麥 五千貫
一、生石灰 壹千五百叺
一、叺 壹萬貫

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ府內ニ於テ國稅地方費府稅年額二十圓以上納ムル者ニ限ル
右供給ニ就キ入札希望ノ者ハ本府第二課會計係ニ請負人心得書、契約書案、仕樣書、見本等熟覽ノ上本月十九日午後一時限リ同會計係ニ入札スヘシ
即時開札ノ上契約スヘシ
大正五年四月十四日
京城府

宮內省御買上◉各宮家御用
ミルド 化粧液
二條公 土方伯 大原伯 御後援
小久保白杵 兩醫學博士證明
付ける程色白くなる不思議の美顏料
東京の貴族は必ずミルドを愛用せらる
東京 ミルド商會

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液
ごんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券貳錢送れば說明書及大澤博士の禁酒論其他名士の禁酒論進呈
本舗 大阪市靭南通二 森田商店

滿洲 五龍背温泉
安奉沿線五龍背驛を距る二丁 閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絕佳にして一大樂園地なり 諸病に特効あり理想的療養場なり 宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり



かぜねつの最良藥
ハカリ印の ヘブリン丸
大阪田口へブリン丸改稱
かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を服ねて全快せらるべし
●各地藥店にあり

四月二十日より七日間
洋傘陳列會
並に帽子、ネクタイ大賣出し
賣出中洋傘御買上の方に限り藤乃花進呈

京城 辻屋 電話一三四八、二六〇六番

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入 卸商 喜多金光堂
京城黄金町二丁目（電話一〇一五番）振替口座七八三番

●セメント壹樽ニ付金參拾錢値上
日本セメント株式會社八代支店
土佐セメント株式會社
佐賀セメント株式會社
日本セメント大川工場
淺野セメント合資會社門司支店
小野田セメント株式會社

特に必要時節來れり アルボースの心
鷲印ミルク

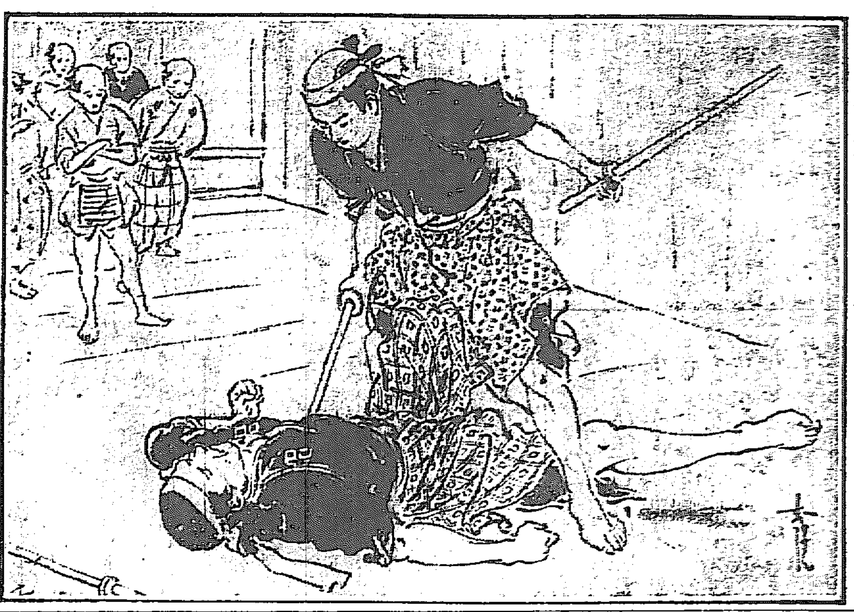
遞信 しれ ……

宮本武藏

第九回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

岸柳は斯る事とは知らないから、頻りに左劍を打落さうと打込んで來る、充分其の左劍を覗はして置て、右劍を以て岸柳の面を望んで打込んだ。依て今度は右劍を望んで打て來ると亦左劍を動らかせる、然れば何うしても打落す事が出來ません、其内に段々と武藏先生の方に於て、兩刀を以て打込み〳〵來りまする内に、後へ〳〵と岸柳下つて、遂な羽目板へピタリ付着て仕舞ふ、宮本は兩刀を以て猶ほ打込み〳〵來りまする、モウ岸柳は後へ下つて付着たなり何うする事も出來ません、面々前へ飛出して手に汗を握つて見物をして居る内に、窮鼠反つて猫を咬むとは此の事で、岸柳は一聲ヤッと猛つて、宮本の腦上を覗つて打込んで來るや是を十文字でガッチリ受止める、其より左劍を以て岸柳の木劍を拂ひながら、右劍を以て胴を突かれましたから、アッと云つて倒れる、起上らうとする所を腰骨を強かに十二三本續け打ち、起しも立てずとは此の事で參つたといふ聲も出ない、胸元へ木劍を當がつて、恨みの一本受取れと言はぬばかりに勢一杯押付けると、ウンといつて起も上らず、其まゝ息は止まらんばかり、此時に宮本木劍を傍に置き刀の柄に手を懸け 武『サア岸柳の門人、師匠が斯ういふ負けを取つてはお前達も見て居る譯には往くまい、殘念と思ふなら是へ參つて勝負をしろ、對手は厭はん、片端から死人の山を築上げる』と八方へ目を配つて、サア來い來れと呼はつたり、一同の門人衆、手を拍つてヤンヤと賞る 武『師匠が負けたのを何で然んなに譽るか』といふに前云ふ通り師匠とはいひながら、熊本ツボの岸柳を江戸の宮本が打負したのであるから、土地が負で貰る時に、一人其れへ進み出で ○『拙者は松平右京大夫の家來服部幸助と申す者でござる、貴方位ゐの名人が江戸表へお在でなさるとは知らんで、岸柳の門人になつたが如何にも殘念、今日より貴方の門人としてどうぞ御稽古を願ひたうございます』△『私も願ひます』×『拙者も願ひます』と居並んで居る面々殘らず宮本の弟子になる 武『是は喜ばしく存ずる、併し熊本から供をして來た佐吉文平の兩人は私の弟子にはなれまい、殘念と思ふなら是へ來つて勝負をいたせ』といふ、外の門人共も ○『サア文平佐吉是へ出ろ、貴樣の師匠と頼んだ岸柳でさへ此の通りだ、手向ひをするに於ては、我々共が寄て集つて打殺して仕舞うが何うだ 佐『何う致して、眞實に恐れ入りました 文『決して勝負を致さうとは申しません、どうかお引取下さい 武『宜しい、其なれば表看板を持つて參るに依て左樣心得ろ 佐『其を持つて行かれると、肥後の熊本へ蹈る事が出來ません、どうか看板だけは御勘辨に預りたい 武『相成らん、江戸表に於て斯樣に三國一無敵流などゝいふ看板を懸て指南をするといふのは不埒だ、斯んな未熟な腕を以て指南が出來るか ○『サア先生何も申して居るには及びません看板は我々が持つて行きます』と澤山な大勢して其の看板を引外して、小石川白山御殿下石川軍刀齋殿流先生の道場へ戻つて來る、跡では灘な氣が付いた岸柳、何分にも居堪らず、三人の者は道場を畳んで何れへか逐電して仕舞つた、扨て軍刀齋先生の本葬といふ事になり、軍刀の弟子武藏のお弟子親類出入町人何千人といふ見送りの面々賑に前代未聞の葬式でございまする、其棺の前の所に岸柳の看板を建て、墓前で其の看板を微塵に打毀して先生の無念を晴すといふ實に立派な葬式、世間の者は 甲『お大名だらうか、旗本だらうかといふ 乙『イヤ是は肥後の熊本の岸柳だ、是はどうだ肥後の熊本から來たといふのだがどうして斯んなに門人が居いて居るか』と岸柳の看板を持つて行くのだから往來で樣々の噂をして居る所へ一人武藏先生の弟子ズカ〳〵と來て 弟『見物默れ、貴樣達は何を以て熊本の岸柳の葬式だと申す 丙『其でも熊本の看板を持つて參りますから、熊本の岸柳の葬式だと申しました 弟『知らんければ貸て居りましたので、決して惡くいつた譯ではございません 俺れが言て聞かせるから宜く聞け』。



四月十七日九星
舊三月十五日甲申
本命六白乾定大安

[illegible]

皮膚科
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　痳病　防既器　生殖器　讀龍鐙障
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元旭町）
佐藤醫院
（電話一一七三番）

外科　内科
花柳病　皮膚病
京城壽町（本町二丁目入）
島崎病院
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話一七三六番

七日ツケタラ鏡をどうんと色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の白美の元素色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞の本陶色白く眞の美人美男子になる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時に代金丈の郵便切手を送らば送品す
東京和泉橋際ゲンソ液本舖 [illegible]

學者の創製したる名譽の白粉

美顏白粉

宮家の御料に召さるゝ譯

美顏白粉は學者の創製したる、學術的に完全な最も新しい白粉であります。學者の眞面目な硏究で出來た白粉ですもの、衞生上から言つても實際上から言つても完全無缺な事は申すまでもないことで、この白粉の、從來の白粉よりも飛抜けて良いといふ事が次第に世に知れ渡り、大變な人氣を引起しましたにつけ、此事何時か高貴の方々の御聞に達し、昨年の三月始めて御用命を賜つて以來、引續き美顏白粉ばかりが御用命を蒙るやうになつたのであります。

▲生れつき色が白いやうな白さに附く白粉▼

名譽の美顏白粉を創製したる
桃谷研究試驗部
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本滲二氏
主事　藥學士　桃谷幹次郎
主任　藥學士　小磯藤次郎
藥學士　齋藤・義助

2575.45

汽車
[illegible]

京城日報

第三版

十六日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 [illegible]政雄

京城論壇
朝鮮に於ける化學工業の將來
農學博士 豊永眞里

朝鮮に於ける化學工業としては抑も怎麼ものが適當するか、との問に對して、予は常に其事業の種類は何に限らず遠き將來の事は兎も角として先づ第一に朝鮮に原料を産するものを原料とした事業でなければいけない。と答へる。果して然らば朝鮮には各種の事業の起るに足る丈けの原料があるか否乎。予は此問に對しては、朝鮮は寧ろ原料地と云つた方がいゝ位だと思ふ、と答へる。其各種各樣の原料を材料として、適當に化學的加工を爲して行きさへすればいゝ譯である。然らば何ぞ、先づ最も手近い處から數へれば、第一に、脂油工業である。其一例として中央試驗所の研究室で研究に著手してゐるのは、荏胡麻油を原料としてボイル油を造り、更にボイル油を原料としてペンキ、ワニスを造る事である。此事業は既に試驗所の手を離れて一部は民間事業として現はれて居るが、獨り荏胡麻のみに限らず、廣く植物油の研究をやれば非常に興味があると思ふ。即ち蓖麻子油の如きも其例であつて、之は實に工業用の原料ではなくて、醫藥の材料である。處が日本藥局法に適合する樣な蓖麻子油の製出は日本では出來ないので、從來總て外國に輸入を仰いでゐた次第である。蓖麻子と云ふ植物は朝鮮では到る處にある。然も此植物は普通の植物と違ひ、豆畑や粟畑の中に點々植付けて、其實上を以て農家の主婦の化粧料に資して居つた。此點々たる植付のみを以てしても産額は鮮少でない。之を原料として藥用蓖麻子油を精製する事は左迄難事ではない。加之其耕作は、從來の疎に作つてゐたのを、少しく密に作りさへすれば、現在の産額を二三倍位にする事は容易な事だ。即ち別に作付反別を増す譯でなく、容易な仕事で、右から左に朝鮮の特産物とする事が出來ると信ずる。更に之よりも用途の廣い植物油の原料は棉油である。元來棉の實は實の儘で殆んど總て内地へ向つて移出せられてゐるが、大正四年末調べの總移出額は四百三十萬斤と爲つてゐる。實棉の含油料は十六パーセント、即ち一割六分である。之を化學的に採取するのは、普通加壓法に依れば鮮くとも八パーセント即ち含油料の半以上は採れる。此割合を以て推算すれば、四百三十萬斤の實棉から五萬五千貫、容量にして千二百五十石の油が採れる。是れで最小限度なのである。實棉の相場は現在一石四十六圓で四百三十萬斤の實棉は五萬七千五百圓に相當するが加工して油として移出したならば、蓋し比較に成らぬ程の額に達するであらう。然かも從來は實棉の儘の形で移出せられて來た譯である。現況既に然り、將來は推して知るべしである。然も棉花栽培は當局の極力奬勵して居る事だから其發展は素張らしいもので、近く十二萬町歩の作付を見るに至るべしと推望せられてゐる。其採取豫定は約四千四百三十萬斤で、之から油を絞るとすれば、油丈けで九十九萬四千五百圓即ち約百萬圓の値と成る。加之、油粕も亦一貫目二十錢の値とされ、其油粕からも、鮮からざる金額に達する。猶百萬圓の油に加工すれば、化學的製造品として更により善き値となる譯である。

植物油の將來は右の如し。翻つて、魚油を見れば其原料は植物油より更に多く、無盡藏と云ふ言葉を用ひても差支ない位に澤山ある。朝鮮の海岸線は六千哩と聞くが、其延長の海岸許りでなく、朝鮮の海岸では暖流と寒流とが交錯してゐるから魚族も多く、脂肪分を多く含んだ海獸類も多く集つてゐる。然るに是等の魚獸類の油が一滴も朝鮮に落ちずして總て内地へ持ち去られ更に輸出せられてゐると云つても差支ない狀態である。之れ朝鮮で利用されないから他に持去られるので、將來朝鮮で巧みに利用しさへすれば其大部分はとりとめる事が出來ると思ふ。其用途は非常に廣く又其製品は各方面に必要を感ぜられて居る。予は嘗て墺都維也納に行つた時、日本の名譽領事フイッシャー氏に招かれた事があつたが、同氏は屈指の富豪で蠟燭と石鹼の製造業者である。予は其工場も觀覽し其盛況に心竊かに驚いたが、其原料は總てオーストラリヤの椰子油其他の植物油であると聞き、何故敢て遠き外國より求めて自國産の原料を以てせざるや、と問ふた處が、獨逸墺國には其原料が無いと云ふ返答であつた。是れ一例に過ぎないが歐洲各國の製造工業の趣は殆んど皆右に似て原料を他に求めてゐる。之れ普通の狀態である。朝鮮の此豊富なる魚油は、獨り其原料を母國に貢ぐのみでなく、販路を海外に求むれば如何程でも需用があると思ふ。要は只粗油の儘で販出せずに、精油として賣出せば如何に莫大の産出があつたとて販路に窮する樣な事はない。思つて茲に到れば、脂油工業のみでも朝鮮の化學工業的の事業は幾多ありと言はねばならぬ。

第二に朝鮮の將來非常に大きな物産となり得べきものは漆である。漆は調査の歩を進むるに隨ひ朝鮮の氣候風土が其栽培に適應せる事の甚だしきを認められ、其事業の益々有望なのを感ずる次第である。即ち一口に言へば朝鮮各地到る處漆を産せざる處はないと云つてもよい。只今日迄聞えないのは成鏡北道のみで最も聞えたのは平安北道泰川郡、成鏡南道新興郡の二箇所である。昔から泰川漆、新興漆と稱せられ、朝鮮人に其名を知られてゐる許りでなく、漆樹の數の多い事も亦朝鮮第一である。其他黄海、江原の各道等殆んど到る處漆樹を見ない處がない有樣である。然も漆樹は桐や桑と違ひ、田畑をつぶす質のものでなく、寧ろ所謂山野の益木と稱すべきもので、別して多く畑の畔や川岸や谷の傾斜地など、耕作の出來にくい處に植ゑられてゐるから土地の利用から言つても面白い。然も朝鮮漆汁の品質如何を調べるに、中央試驗所に於ての分析調査の結果に依つても、甚だ優良と稱して然るべきものであるが、一方當業者の眞察なる鑑定を得たいと思つてゐたところ、最近大和の吉野漆組合から來翰によれば、日本式に採つた朝鮮漆の品質は日本漆の第一等のものに匹敵し得るとの事である。恰も中央試驗所の分析の結果と一致する事となつた。即ち氣候風土に適してゐるのは疑なき事であるが其採取量は未だ的確の試驗を經なければ公言する事は出來ないけれど、元來漆には漆、盛漆、セシメ漆等の別があつて、其價格亦甚だ異り、盛漆最高でセシメ漆が最低である。同一の一本の樹木から採取した漆汁で右の樣な變化があるが、大體に於て二百匁八十錢位と見れば大差がない。今泰川郡の漆樹數を調査するに數十萬本と稱せられてゐる。從つて漆汁の産額も少からざるものと見て差支ない。假に採漆量を一萬三千貫と見積るも其價額八萬圓に上る。平北の一郡のみに於ても既に然り。之を朝鮮全道に擴めんには實に數百萬圓の巨額を生ずる事は易々たるものである。之を以て盛に今後朝鮮に健實なる漆器を製造し支那歐米へ輸出すれば堂々たる國産となるべく、少からざる國益となる。而して其餘を供給しても三四百萬圓のものは容易に販出し得て朝鮮も母國も共に悦ぶべき結果となる譯だ。係の如く論じ來り論じ去れば、殆んど枚擧に遑ない次第だが、何此外にも京城、釜山等の瓦斯會社から出來て且つ一つも利用せられてゐない、コールタールを原料とした工業、從來捨てゝ顧みられない處のニガリの利用、新義州、安東縣方面で山の如く産出し、然も何等の用途だも發見せられてゐない鋸屑の利用、朝鮮全道を通じて約一千萬石以上も産出して、邪魔物扱ひにされてゐる籾殼の利用、更に六千哩の海岸到る處の海底に耕やしもせず肥料も與へないで無盡藏に生産する海草の利用等に就いては、今中央試驗所で研究中であるから他日之等の結果を發表の期もあらうと思ふが、要するに朝鮮では各種各樣の工業原料が思ひの外に澤山あるから餘り苦心しなくとも化學工業は將來必ず勃興發達する事と信じて疑はぬ。

支那の形勢
在東京 一記者

▲支那南方革命軍連りに其勢力を作り、廣東省亦之に應じて獨立を唱ふるに至る、即ち是れ支那の大半は北京政府に背けるを證するものにして、其形勢や重大なりと謂ふべき也。

▲今日北京政府は財政甚だ困難にして、僅かに借金政略に依て一時を經過せむとを是れ求む其兵力も亦極めて微弱なり、是れ南方革命軍漸く其形を張るを見るや忽ち妥協を求むるに汲々たる所以なり、然れども南方革命軍とても決して其資力ありと云ふ可からず、其海外出稼人又は有力者の義捐金にて、且暴自ら支ふるといふ爲體なれば實力なきことは南北同樣なり、從つて有力者ありて何れか一方を助くるときは勝敗忽ち定まる可きは明白なれども、第三者より之を見れば何れを助け何れを倒すといふ必要はこれ無く、關係列國民皆袖手傍觀して其の成行に任かすの情あり、是れ支那の騷亂はこれより益々長引く可しと爲す所以也。

▲且今日の北京政治家も南方革命家も共に國民の同情を引くものなし、北京政治家は常に權謀術數を挾み信を其の友邦に失ふの樣あり、南方の革命家は則ち概ね排外主義を取るものにして、彼等日本又は英米の勢力を支那より排除するを以て民心に投ぜむとす、是れ世間南方革命軍にして勝たば支那は排外熱を一層高め來るべしと爲すものある所以にして、南人自由獨立共和擁護を提唱し、切りに正義に訴ふるも英米人毫も之を顧みるの色なきは決して其故なしとせず、而して英國其他二三國の外交家今猶ほ北京政府に好意を寄する者あると雖も、是れ亦英國一流の事實的政府を尊重するの方策に出で、明日にも他に事實的政府ありて成立せば、其外交は忽ち一變すべきは言を待たざるなり。

▲然らば支那の前途は如何、今豫め此に之を詳にするを得ざれども、恐くは一時無政府の狀態に陷ることを避くべからず、今日北京政府は南方と妥協することを是れ求むるに似たりと雖も、南人は袁氏政府より退隱するにあらざれば北方と妥協するを肯せざるべし、然れども袁氏去つて後何人を推して大總統となすべきか、南人自身すら何等の確定意見を有せず、且實際其人物を見出す能はざるを如何せむ、或は清朝の舊君を復び戴くべしと爲すものあれども、是は窮餘の窮策なり、且清朝は其命數盡きて自ら倒る、今にして死灰再燃を思ふも蓋し其甲斐あるべからず、已を得ずむば則ち南北共同して五人十人の合議體を設けて、其政務を擔當せしむるの外なかるべしと雖も今日の支那人は猶ほ御祭り騷ぎ中の群衆なり、これが爲めに革命善後の計を說くは尙ほ甚だ早しと謂ふべきなり。

北方の咽喉 (十) 咸北の三都會 (37)
東拓理事 村田俊彦

露國が浦鹽の自由港制度を撤し、一且其地を通過する物には皆關稅を課するに至りしは、西比利亞方面の交通を强て密ならしめ、以て國内産業を獎勵せんとするにありしと雖も、其結果は豫期程の効果を收む能はざりしやに聞く。露國何時何等かの理由に依り、更に自由港の政策を取るに至らんやも計り知る可らず。加ふるに浦鹽以南に於てポセットの港を有し、吉會線竣成の曉には、間島より起して琿春、オキフスキーを經、此所に達する分岐鐵路を敷設せんとする企ありとも傳へらる。淸津亦今日より豫め深く慮るところ無かるべからざるなり。人往々港内の不凍を以て凍港との競爭上甚だ恃むべきものと爲す、其有利多大なるは論無しと雖も、之を以て難攻不落の鐵壁と爲すは、蓋し謬見たるを免れざるなり。凍氷の程度にも依るべしと雖も、大概は人爲を以て此不便を除き得るなり。ハンブルヒも凍港なり、然れども能く氷を碎て常に船路を開く。天津の如きも數年前までは冬季其の用を爲さず、數箇月間は秦皇島等に代理を命せざるべからざるものと思惟せられたり。然るに今や碎氷に依りて斯く一時的禁治區は解除せられつゝあるに至れり。港を有用繁榮ならしむるには船舶、船用品、貨物、旅客、船員に對する港灣及び港上の設備、海陸の連絡並に貨物の仕入地及び消費地に對する商系の連鎖等は、蓋し其の要素なるべし。此内第三のものは今より飽くまで之を圖らざるべからざるも、第一第二のものは適宜に之を行はざれば、食傷するの憂あり、又元山釜山敦賀等其他の國内の諸港と連絡して之れを考へ之を施さゞるべからず。或は他港に缺ぎて淸津に設くるの便なる者も是あるべく、或は他港に委ねて淸津に省くの利なることも是あるべし。而して第一第二の如きは、主として國家之に當らざるべからざるも、民間の人士亦相當の考慮を廻らさゞるべからざるべく、殊に又第三の如きは其力に待つ多きものあるや疑を容れざるなり。

京城雜筆
山縣生

▲我日本國民は純粹の蒙古人種に屬せずして、雜種人なるは人類學者の一般に認むる所なり。思ふに我等の脈管に流るゝ血には蒙古人種、馬來人種及び白人種の血が混じ居れるなるべく、日本人が他の亞細亞の諸國民と異なり、裝備に於ても武勇に於ても白皙人と比肩して遜色なきは蓋しこれが爲めなりといふ者あり。

▲記者は白人種の血が我等の血液中に混じ居れるを以て格別の誇りとも思はず、又恥辱とも思はず。我は日本人たることを以て滿足し、且つ誇りを感ずる者。唯日本人が純粹の人種に非らざることは疑ふべからざるに似たり。我等の祖先のうちには上古白人種のサイベリアを經て來りたるものあらん、今日のアイノは其後裔たり。朝鮮を經て入り込みたる出雲民族もあり。又南洋より漂著したる馬來人種も加はり居らん。

▲横濱に久しく在留する英國の醫師ゴルドン、マンロー氏は久しく日本人種につきて研究する所あり。人類學の大家にして、アイノ人種が上古關東地方に地盤を占め居たる事の知れたるは氏の研究に負ふ所多し。氏の說に據れば元來日本には大和民族とアイノ民族とが棲息し、常に相鬪爭せしが、後者は次第に前者に壓迫され、北へ北へと追ひ立てられて、遂に今日の如く僅に北海道に餘喘を保つに至れるなり。一方に於て大和民族も亦朝鮮より來れる出雲民族に征服され、今日の日本人は主として此等三民族の混合したる者なりといふ。

▲茲に頗る耳新しき說が氏によりて近頃發表されたり。そはアイノ人種が上古薩摩に居住せし事ありといふにあり。氏は遠からぬ前薩摩地方に旅行し、石器時代のアイノ人種の遺跡を發見し、之を發掘して多くの遺物を採集し、猶ほアイノ人種が大和人族と戰うて敗るゝに當り、身を隱したる孔穴の遺跡をも發見したりといふ。此發見により氏は古事紀及び日本紀に謂ふ所の土蜘蛛なる者はアイノなる事を言へり。

▲氏は今日の薩州人は大和民族とアイノ人種との混合したる者の子孫にして、薩州人が日本人中にても他國人に比べて優秀なるはこれが爲めたりといへり。說の是否は門外漢たる記者の判定し得る所に非ず。唯今日に於て興味を感ずるは日韓併合によりて日本人と朝鮮人とが同じ大帝國の臣民となりしは、遠き以前の狀態に復歸したる譯にて、一時分裂し居たる一大民族が再び一に歸したるに他ならず。日鮮人は血の通へる兄弟なり、同胞なり。互に相愛し、相助けて、共に帝國の興隆に努力すべきは歷史の命ずる所なる也。

戰前及戰後の歐洲 (四)
法學博士 吉野作造氏講演

▽萬歲唱和の禁止 社會黨員は遂に皇帝と政府とに對する三大禁令を宣言し實行する事となつた三大禁令とは(一)皇帝に對して萬歲を唱ふる事を禁ず(二)宮廷に伺候する事を禁ず(三)歲入出豫算に協贊する事を禁ず、と云ふのであつた。皇帝に對する萬歲の禁止といふ事は則ち皇帝として認めず皇帝に對するの敬禮は行はないと云ふ事である。社會黨員等の常に謂つて居る、カイゼルは成程普魯西の王では有るけれど、二十五聯邦の獨逸として彼は皇帝では無くして獨逸聯邦が選擧した一種の大統領である、其の大統領に對して皇帝に對する禮式である所の萬歲を唱ふるの必要はないと。又甚だしきに至つてはガプロールと云ふ社會黨の一議員は曾て議會に於て皇帝の收めるアルバイトローン即ち賃金が餘りに高過ぎると云つた事さへ有つた。それから私が恰度議會の傍聽をして居つた時、矢張り勞働組合から從來勞働者は滿二十歲から選擧權を有する事に爲つて居るが、更に十八歲から選擧權を有する樣にしたいとの提案があつた。其の原案提出者の說明には、帝國憲法は皇太子の成年を十八歲として居る。何んにもせずにブラ〳〵遊んで居る皇太子でさへ十八歲に成れば一人前の者と認められるのだから、子供の時から働いて居る勞働者の子弟はモット若くても一人前として認めても宜い筈であると云つて居る。議會へ皇帝の臨幸される場合や其他萬歲を唱ふる際には毎に社會黨議員は退席するのが例に爲つて居る。斯んな禁令が頗るよく行はれて學校等に於ても萬歲を唱ふる場合に社會黨員子弟の生徒が悉く退席すると云ふ樣な事から屢々問題を起した事もある。

▽宮廷伺候の禁 次に宮廷伺候の禁も萬歲奉唱と同樣皇帝に對する敬禮を行はないと云ふ申合せである。社會黨に籍を置く者は官吏などまで新年又は皇帝誕生節の祝賀等の際にも宮廷に伺候する事を爲ない。それについては斯ういふ問題も起つた。今から二十四年ばかり前に議會に於て社會黨議員の中から一名の副議長が選擧せられた。獨逸の議會では議長一名副議長三名の制である。議長副議長の選擧が濟んで愈々伺候と云ふ場合に爲つて、社會黨の副議長は何んとしても伺候する事を肯んせない。止むを得ず他の正副議長三名で伺候を願つた處が、宮内官の方で皇帝は個々の議長の敬禮を受けるのではなく、議長團として其れに謁見を賜ひ敬禮を受けさせられるのであるから議長團の中で一人でも缺げては謁見を許されぬと云ふ事に爲つて、二回の選擧の際は止むを得ず社會黨員の副議長を除いたと云ふ例もある。

▽豫算協贊の禁 政府の豫算に對する協贊を禁ずる事は、豫算と云ふものは何れも皇帝の政府と資本家との都合の好い樣な事ばかりであるから、社會黨員は一切豫算に協贊せぬ事に爲つて居る。斯う云ふ始末の惡い社會黨議員が議會に於て侮るべからざる數を占めて居るから實に危險である。今では戰亂の爲めに此の三大禁制もよく行はれては居らぬが、概して言へば南方の社會黨は政府の取締が嚴重でないから其の行動も溫和であるが、北方は之れに反して政府の取締が非常に嚴酷であるが爲めに、其の運動は頗る過激である。故に之等の社會黨が萬一天主教徒と相結托して事を擧げる樣になると由々敷大事である。故に獨逸は一面非常に引締つて擧國一致と云ふ風も見えるが、又一面から見ると頗る危險なる素質を有して居る。

▽軍人萬能 故にプロシヤの武備は四面强敵に圍繞せられて居ると前述べた樣な風で、内外の形勢からして勢ひ軍國主義ならざるを得ないのである。從つて獨逸では軍人を尊敬して物質の上からも社會的地位の上からも頗る之れを優遇して居る。妙齡の婦女が理想の良人は悉く軍人である。遂に婦人までが武官の職名を享けて欣んで居るといふ有樣である。カイゼルの内親王は某名譽聯隊長になつて居る。ビスマークも亦軍職に在つた。ビスマークはモルトケ將軍よりも軍服を著た時間が長かつた。其他の重なる政府の文官は悉く軍人であつて、其れ以下の官吏は悉く一度兵役を勤めた者である。兵役を免ぜられた樣な者は何處の役所でも會社でも雇聘して呉れぬと云ふ有樣である。又軍隊でも在營中にそれ〳〵鐵道、郵便等の事務を敎へるから、一度軍人に爲れば飯の喰ひ外れは無いと云ふ事になつて居る。此の邊は日本なぞとは少し異つた處で獨逸の軍國主義の色彩の明瞭な處である。而してビスマークの外交的活躍は亦頗る目覺しいもので有つた。

第二回 朝鮮短歌會 (五)

(六點)何物か呪ふが如し齒車はしばし默してまためぐれる(若草みどり)

今日もまた力の人となりもえて小暗き怨にもの思ふかな(同人)

事念に物など思ふ此頃は物忘れする日の多かりき(下田[illegible]子)

沖はるか他國の船の横たはり青き灯ひかる冬の夕ぐれ(黄村島男)

涙してつと背きける横顏のいや寂しくもわれを捕ふる(岩田紅)

おどけたる喜劇役者の身ぶりにも涙ながして今日はありけり(同人)

胼の血の黑ずみてある下駄買へと强請る子供の足見れば(匡子)

生なれば日向求めてなよ〳〵と病犬あはれ瞑をするも(高塚賢巖)

大阪三品
▲十五日後場 [illegible]

大阪期米特電 (十五日)
後場の限番付十三圓六十錢止め六十錢△中限寄付十三圓九十錢止め九十一錢△先限寄付十四圓三十二錢止め三十五錢

仁川米豆取引所
	高値	安値	止め
[illegible]	一三、[illegible]	一三、五五	一三、五七

九錢より市場顯著る強乘り揚にて此陣と押したるが[illegible]より買物顯はれ[illegible]より買向ひたるも上歩調となりたる[illegible]大阪の[illegible]高き入電に接して[illegible]其値より賣物顯はれ[illegible]其値より賣り向ひたるも二十二錢と[illegible]し前場の[illegible]を告げた

[illegible]其後賣停者の斡旋にて無事解決を見るに至り茲に一段落を告げたり

▲在庫調べ 本月十五日仁川穀物協會に於ける在庫穀物現在高左の如し
玄米 九円、七九五 白米 四、〇八七

▲現物 [illegible]

五月限	[illegible]
六月限	四萬八百[illegible]

○奉天省兩師團獨立？

張作霖將軍の去就如何

奉天革命黨の有力家張仲鴻は張馮の兩師團長に對し其獨立を勸告せり張作霖の態度愈露骨となり時局を餘處に北郊に麾下の演習を督し居り（奉天特電）

▲張師團長決意鞏固　奉天省第二十七師團長張作霖も獨立の決意鞏固なるものあれば同省の獨立も一兩日中なるべし（北京電報）

○江蘇兩市の獨立宣言

江蘇省鎭江、揚州の兩市は獨立を宣言したりと報ぜらる（上海特電）

○陸氏歸國せん

駐日支那公使陸宗輿氏は來る二十五日を以て歸國の途に就くことに決したるが同氏は近來日本の對支態度に就て諸種の報告をなすも困惑の狀態にある北京政府は一も其の報告を信用せざるに對して非常に不平を抱き居り這回歸國と共に辭表を提出する決心なりと傳へらる又た一面に於て同氏は既に北京政府を見限り革命派に投じて態度を鮮明にし上海に到り時局の推移を觀望するの意あり最近革命派の日本留學生團體に對し私財を寄附して好感を得つゝありと（東京特電）

○潜航艇戰と米の通牒

華盛頓來電信ずべき報道に據れば米國政府は獨逸に對し潜航艇戰は中立國に累を及ぼすこと鮮少ならざるを以て之を中止すべし若し肯かざれば外交關係を斷絶せんとの通牒を送るべしと（紐育電報）

○ミューズ西方の砲擊

十三日巴里發表の公報に曰くミューズ河西方三〇四高地モルトムキユミエールの間にて砲擊は繼續せりミューズ東方及びウーヴルには相應に砲兵隊の活動を見るも步兵戰は行はれず（倫敦電報）

○英軍土獨軍を擊退

倫敦來電に曰く英軍はメソポタミヤのチグリス河附近に於て獨軍を擊破し及び土軍を擊退したり（紐育電報）

○豫算編制方針

過般兩三回の閣議に於て武富藏相は大正六年度豫算編制方針に付大體の意見を陳述する所あり各大臣共協議の結果愈各省より右概算書を大藏省に提出するは七月十五日限りと決定し大藏省に於て審査の後該査定案を閣議に提出するは九月九日迄とし而して十一月末迄には印刷を終了しかくて十二月一日三十八議會召集には差支へなき樣諸般の打合せを確定せり（東京特電）

○首相大使招待

駐日露國大使マレウイツチ氏は十五日夜出發歸國に付大隈首相は送別の爲め同日正午同大使、令孃、參事官を早稻田の別邸に招待し午餐會を催したり當日陪賓として石井外相、加藤海相、大島陸相等列席し歡談裡に二時過ぎ散會したり（東京特電）

○臨時職員官制

既報の如く聯合國經濟會議に參列の爲め設置されたる臨時職員官制は十五日の官報を以て御裁可相成り公布されたり（東京特電）

○山縣元帥輕快

山縣政務總監は十五日午前十一時五十分國府津驛に著し直ちに古稀庵に赴きたり山縣公爵の病狀に就き主治醫は曰く公爵は始め肺炎となる虞れありしが其後共等の懸念も去り少しく氣管支を冒されたるのみにて昨今は體溫も三十六度五分位を往來し殆んど平熱となり漸次快方に向ひ最早憂慮を要せずと（東京特電）

○鑛業出願（承前）

出願月日　所在地　面積　出願人氏名

▼京畿道楊州郡

▲金銀
二、七　楡泉面徳亭里　［稲戸・築城／局岡宮次郎］

▲タングステン
四、一　州内面廣沙里　［岩・谷・籐／日・た・員一］

▼忠淸南道瑞山郡

▲タングステン
大正五年四、一　住南面下校里　高田商會

▲石綿
同　近北面廿論里　（原文不鮮明）信太郎

九、二一　（同）同休岩里馬北面龍岩里　［阿部信次郎／外二名］
大正四、八、二一　同島韓里兵鴫里　［津原平一／外二名］
（同）　高北面加山里梨岩里　［同人外三人］
九、二一　積城面山水里島楠里　［田中一／一繕］

▲金銀鑛
一一、三　普山面新里馬谷里／瑞寧面陳里徳川里　島村仁助
同　與城面冬岩里島鴫里　［渚貞丸／外一名］
同　同山水里兵　［石山米太郎］

▲金鑛
大正五、一、二三　貞美面巨島／里禎坪里　［李基南／外五］
二、三　同松場里　［中田光太郎／外一］
同、二三　同楓坪里鳳生里　［李某／外二楷］

▲銅鑛
同、二四　近興面方射島　［朴準大／外二名］

▲鐵鑛
二、二八　（原文不鮮明）

同、三、　貞美面鳳生里　中田光太郎
同、一六　同　李時雨外
同、二四　與城面廣谷里　星野萬吉

▲タングステン
五、四、一　長島面新興里（以下不鮮明）

◉朝鮮の陶業

前途頗る有望也

日本內地の陶磁器製造品の輸移出せられたるもの價額は昨年中に於て六百九十五萬三千餘圓にして其重なる仕向地は北米及び支那にして朝鮮への移出は之に亞ぎ昨年中には三十九萬七千餘圓を數へたり而して此等朝鮮向の陶磁器の大部分は日常必要品にして從來鮮人の家庭に於て使用せられつゝある大鉢、飯盆、膳盆、便器、貨盆、盆、灰皿等にして陶器製に係るものは近時漸價且つ便利なる陶磁器を代用さるゝの傾向あり且つ內地人の移住增加と共に益々需要を增しつゝあり

▲原料産出地方　然るに朝鮮に於ける陶磁器製造業の狀態を見るに未だ幼稚の域を脫せざれど其製品の原料としては慶尙南北道、全羅南北道、京畿道、平安南道、咸鏡北道、黃海道、江原道等に白色優良の陶土あり中には內地に産出せざるのみならず歐洲の最良磁土にも劣らざるものも存し殊に平南の大同及び成川の如きは他の多くの製造場にて二三種以上の原料を混和作製せるに比し只一種の原料を以て直ちに製作に適する陶土さへありと云ふ

▲內地品との比較　前記の如く年々多大の移入を見つゝある內地品の代用物として假に一個の『サバリ』に就て見るも適當なる地方に於て五六萬圓の資金を投じ製造業を經營すとせば一個當り原料費燃料費一錢、工賃一錢三厘、營業費一錢等二厘計四錢五厘位の安價にて製造し得らるべく內地移入品の市價七錢二厘前後なるに比し二錢七厘丈け低廉となるべし

▲製造の好適地　而して其製造經營の方法如何に於ては自から大小二種あるべきも其販路を半島內に局限せず大製造法を採りて海外に向つても供給し得べき程度の大規模製造地として原料、燃料、勞力其他の關係の好適せるは釜山、木浦間の海岸地方を始めとし大邱、金泉、慶館、密陽、京城、仁川、海州、平壤及び鎭南浦等なりとすべく是等の地方にて經營せんとせば統一的經營によるを最も有利とすべし

◉仁川最近商況

二月以來內地期米の下押にて相場不味を呈し特に鮮米は產地高にて不引合勝なるに折柄內地古米の投物等に壓せられ割高となりたれば賣行捗々しからざりしが中旬以後阪地期米の反撥を奮し當地之れ相俟つて活況を呈し賣物薄の折柄手持筋の強腰となりたれども又々不味に陷り精米商用日の買進みあるに止まり依然活氣なく輸移出も前月に引續きて不振の狀況を呈したり相場は神力玄米にて中頃十一圓二三十錢見當もの月末には十圓八十錢處に下落せり大豆は總者少なく賣物薄にて相場手堅き模樣なりしも手合は多からず牛皮は相場保合なりしも阪地筋の買進みにより稍移出筋活況を呈せり一方輸移入品は綿絲金巾麻布等夏物向き著しき輸移入を見たりと雖も多くは諸物價の昂騰に由る先高見越輸移入にして地方賣行は捗々しからず大部分は掛賣又は手持となれり其他砂糖麥粉酒等の食料品も荷動き鈍狀にして小康を呈し市況活潑ならず恐らく米價の立直りを見ざる限り姑許市況沈靜は免れざるべく未だ財界の大勢は搖かざる狀態なり

◉記念採種田設置

全羅北道川崎藤太郎氏は大正三年初めて朝鮮より新嘗祭への獻穀に際し獻米耕作を奉仕せるのみならず大正四年大嘗祭に當りても復た獻穀耕作奉仕の榮を擔へるより永遠に此名譽を記念すると共に稻種改良の一端に資せんが爲め同耕作地を採種田と爲し小作人中品行方正の者を選むで採種に從事せしめ種子籾は相當代價を以て希望者に交附し之に依りて得たる收入は年々貯積して公益、慈善及び敎育事業に寄附する事となせりと

◉通俗講演會開會

京城商業會議所は府內に於ける各商店の店主及び店員に對し來る二十日午後七時頃より同所樓上に於て通俗講演會を開會し金谷府尹、宮舘本町署長等の講演あるべしと

◉京城水道收入

實收二十五萬圓

前年度中に於ける官營京城水道の水道收入は豫算編成の際共進會等の爲め新引込者八百餘戶を算する害なりしも事實は四百戶未滿に過ぎざりし故豫算額より若干減少し實收二十五萬圓なるが水道支出は約廿萬圓なし結局五萬圓の剩餘となれりと

◉甘藷九千貫を配布す

京畿道にては恩賜授産金による甘藷栽培を逐年獎勵し來れるが本年も亦約九千貫の甘藷を各郡に配布して苗床に仕立つる筈にて來る二十日頃より一齊に送附すべしと

◉海州の簡易水道

黃海道海州には井水不良なるを以て大正五年度に國費の補助を受け之れに地方費の支出を加へ約三萬圓の工費を以て廣石川より水を引き簡易水道を設くる事となりたる由なるが年度末迄に完成すべしと

道長官歷訪

□痛切に前任者の勞を思ふ

宮木全南道長官談

▲予は道長官のホヤ／＼にて管內の事情なども未だ知るに由なく語るに勉なし、但し昨年一般事務視察として南鮮地方に出張の際全南をも見舞たる事あり、殖産興業の方面に付きては有數の道なりと思ふ、從つて予の如き者の能く出來ざる可く此任命を見たる

▲今迄地方に出張の經驗も少く、著しく感じられたるは道長官の仕事の折角なる目立たぬ仕事に無暗に骨の折れることを新內地方長官に若くものあらざる可し、物質上の問題は兎に角として精神的の行政は却々容易の業にあらず、殊に民度低き朝鮮人と比較的進める內地人とに對して偏頗なく事を行ひ、無事に業を進むるには餘程堅固の決心と覺悟を持たざる可からず

▲併し乍ら最も苦心を要せしは既往五箇年間の事にして總督政治の第二期に移れる今日に在りては其辛勞も最早前日の比にあらざる可く、本道の如きも其大仕組は工藤前長官の經營に依りて既に出來し居れば予は其後を汚さゝらむ事を心掛くると共に、また多小壁を塗り床を張りて完成に近づかしめん者へなり、兎に角第二期の今日に於て任命の榮を得たるは予の最も幸福とする所にして若し併合當時此の重任を負へりとせば不肖予の如き者、爭で今日の治績あらしむることを得むや、予は此點に於て特に前任長官の勞苦に對し滿腔の謝意を表せざるを得ず

▲また赴任前に方りて長官會議の開かれたるは予に取り非常の倖なりき今迄は迂闊に聞き過したることも我身の上となれば多大の注意を拂ふは人情なり、今回の會議に列して先輩諸君が如何なる點に意を拂ひ心を注がるゝかを窺ひ得たるは新參者の好參考なりしと共に、地方長官の心勞の如何に大なるかを知りて、不肖予の如きが此重任を負へるの甚だ心許なさを感ずること益々深し、されど命を帶びたる以上は總督の御主旨を奉じ敎に依り倒るゝまでも骨を折る考へなり、只其骨折りが無駄に終らずば幸之れに過ぐるものなし、今回も新任當時とて何の御話しも無し、明年は曲りなりにも多少御土產談を申上げ可し

人事消息

▲木村宮皓氏（臨時土地調査局監査官）十五日午後入京川本旅館へ

▲青木精夫氏（横濱正金銀行員）十五日午後入京朝鮮ホテルへ

▲宮川久太郎氏（同）同上

南山記語

▲妙に英獨に媾和風が吹き始めたとあつて例の羅馬法王は又たソロ／＼と兩國に探りを入れて見たらしい▲小さい鍵なら鳥渡探りを入れて見れば分るが斯う大きな鍵では小々の探りは利かぬ▲滅多な事をすると戰爭者の手前がバレて笑ものになるよ▲獨帝は各所を荒し廻つたメーウエ號の船長ドーナ伯に一等鐵十字勳章を授け▲乘組船員一同には二等同勳章を授けたと云ふ▲海賊をやつて殊勳の勳章を貰つたのは恐らく世界にメーウエ號乘組員より他はあるまい▲之れでは海賊奬勵だ潜航艇の荒れ廻たのも最も千萬である▲サセックス號を擊ち沈めて澄して總て存ぜぬ知らぬ位の事はお茶の子サイ／＼だ▲其のお茶の子サイ／＼にあつた亞米利加こそ何時も好い面の皮だ▲ウキルソン氏の勘忍袋の丈けは何れ丈けあるのだらう見たいものだね▲鳥人スミス君が一秒三十米突以上の烈風の中で平然として逆轉橫轉自由自在の妙技を演じつゝある今日▲我が所澤では『本日風なし飛行に適す』進めオチニはまだしも▲運轉中故障著陸報告終りッでは實以て心細い次第サ▲今の今迄ケシかけて居たジョルダン公使が▲イヤ何うも關稅剩餘金でお互見解を異にしたのは洵に遺憾▲以後は何分御一所にと如才のない處は却て此方がくすぐつたい氣がするヤレ／＼▲と思つて居たら支那公使の陸宗輿君も立腹したとか革命黨に投ずるとか▲何んでも北京政府を見限つてサッサと東京を引揚る相な▲之れぢや支那政府をオヤ／＼だらう▲此方向けばヤレ／＼彼方向けばオヤ／＼東洋の天地又多事なる哉だ

隣邦時局の觀察（十）

布施知足

さう云ふ次第で時局の進展は最近假令急轉直下の姿があるにもせよ矢張り舊來の常套に惰してゐるのであつて隨つて其落著までには猶多少の曲折があるにしても大抵は保證人の顏並べ以外餘り目醒しい事もなくて勝負がつくのであらうと思はれる雖問題になるのは外來の勢力が時局に及ぼす影響如何と云ふ點で觀察は寧ろ此點に向つて注がれなければならないやうである、現に最近日露の接近が大分支那の人士を刺戟して政府側の策士は之を種に例の妥協案の進展を圖つたかと思はれる點もある、それでなくとも官革兩軍の背後にある外國の勢力其の暗鬪其の一進一退是等は寧ろ表面に現はれた事件の經過其物よりも觀察に興味もあり意味も重大な感じがする、そこで之からの報道には此暗鬪が産出した巧妙な又は途方もない揑造說が大分混る時はよく其前後の事情に照し合はせて精粗眞贋を分つやうに心懸けねばならぬ、何分我々のやうに直接事件には關係なく新聞の電報を唯一の便りとして形勢を揣摩してゐる者には電報の精粗程我々の判斷に影響を及ぼすものは無い、揑造で無いまでも多寡が風說に過ぎない事を其儘打電して來るのもあるが之も注意して見分けるのが肝要である、今度の動亂が始まつてまだ間も無い頃北京の共衞軍が背いて叛旗を押立てたと云ふ電報が大阪の新聞に載つた事があるが此樣のは實は打電者の不見識でお膝元で軍隊が叛くに至るまでの徑路を考へ更に當時の形勢に照合はせて判斷したらば其虛說たる事は譯なく斷定し得られた筈である、盧匪がどうしたとか宗社黨がどうしたと云ふ報道も之と同樣で其事實の眞否審ろ其意味の輕重に就ては急遽に之れを受納れる前に先づ一應よく考へてみる必要がある、もう一つ困るのは之から革命黨の景氣がよくなるにつれて黨員の鼻息が荒くなり自分の空想で不意と考付いた事を恰かも既定の事實で今にも實行の緒に就いてゐるやうに吹聽する事である、それを其面目に其儘報道して來る事がある、第一革命の時であつたと記憶するが山西は閻錫山と已とで取るんだと大變な元氣で吹聽した人があつた、其說に據ると獨立政府完成と共に外交顧問に寺尾博士財政顧問にはつい先達て朝鮮銀行總裁になられた勝田主計氏を推薦する筈でもう二氏の承諾を得てあるのだと云ふ、其實寺尾博士は兎に角勝田氏は一向御存知の無い事であつたらしい、根底の無い虛說ではあるが此樣のが却て一般の興味を惹くので一度新聞に現はれると忽ち事實として取扱はれて仕舞ふので甚だ困る、更に最も注意しなければならないのは袁氏の失脚につれ革命黨がまだ充分成功しない間に淸朝復辟論即ち宣統帝の復位を主張する議論が追々芽を出しさうな形勢が見える事である、康有爲氏は既に堂々と其の論を發表したやうであるし其の他の人々も大分之に附和しさうな樣子が見える、之が可否を判斷するには先づ淸朝の亡びた所以之が更に勢を盛返す地盤の有無支那が爾今採るべき道其道を進まんが爲には共和帝制の何れを可とするかと云ふやうな點を仔細に觀察して初めて決し得べきであつて審式の道德論又は感情に立脚した政治論で此問題を定められては迷惑である、それは兎に角時局の觀察も餘り長くなつたから一先づ之で切上げて餘は又新形勢の發生した時に讓りたい。（完）

生キテ教エル
英語暗記器無代進呈
文字と書物で英語を習得する方法は多年研究しつくされ最早これ以上進歩のしようもない。今回大發明の特許を得た『英語暗記器』を利用することによつて英語界に一大革命を起した。諸君は書物を捨てよ諸君は器の力で英語に上達することが出來る本器を利用すれば全く初學者でも最も短日月で日常の實用英語を自由自在に使へるやうになる。外國人について學ぶよりも早い。此際入學者に限り此の高價なる器を五百個限り無代進呈す。及び校則等は東京本郷區大學正門前英語通信學校（電話下谷三〇一一番）へハガキで申込次第無代進呈する

蜂谷柳莊譯
新譯碧巖錄
新版再版三版出來　定價一圓廿錢　送料金十二錢　特價壹圓
世の所謂坊主讀を避け寧ろ俗解を施す新譯の名を冠する所以、碧巖の幽玄深遠なる眞趣を知るに足る、之に思想界の殺人刀活人劍
東京　大阪屋號書店

文學士寺田精一先生監修
五月號
トモダチ
毎月一回發行　一冊十二錢　郵稅五厘　六冊郵稅共七十錢
◎幼ないお子供のトモダチとして好評の大繪雜誌
附錄　面白い手工折紙金太郎人形
東京麴町二葉社　富士見町　振替東京三三六三

新刊雜誌
通俗講演會
京城本町一　松井松榮堂　電二三七八

（特約店募集）
日本荷札
（見本進呈）
◎品質ハ機械製ナル故申迄モナシ
◎製產力ハ實ニ東洋唯一
東京市神田區和泉町
日本荷札製造合資會社
電話下谷三四一一番　振替八四番

池の坊流
生花講義錄
短期速成最も容易に習得せしむ師に就て口授を受ると異ならず
會則附見本進呈送料二錢郵券にて送れ
◎東京四谷區須賀町◎日本華道會

日韓書房
新版報告
◎近刊豫告◎
朝鮮總督府御編纂
朝鮮林野分布圖
全九枚一組定價金參圓也
近日小部數限發行至急御申込被下度候
京城本町二丁目　電話一四三・五〇一二　振替四座・七七五番

鑛山用測量器械諸機械
京城本町シイナ

▲金鑛 所在地 出願人氏名 出願月日
[illegible]（同）（同）
▲後寫 ……
江原道金化郡 ……
京城府 ……

風光る

春が來た

加五里の櫻

春が來た、春が來た、牛耳洞にも春が來た、花は來る廿三日の日曜頃から蕾を賁づるに充分であらうが廿五日頃からはポツ／＼咲き出す、次いで三十日の日曜は花見客の集る絶頂であらう、また牛耳洞の手前半里ばかりの所には櫻花の名所加五里がある、此處は三井物産竹內氏の所有となつて居る爲め餘り世間に知られぬやうだが

◆花盛りは寧ろ 加五里の方が優れて居る、昨今氣の早い人は一日に十餘組以上花の催促に出掛ける向もあるやうだが花の蕾は過般の春雨によほどふくらむで綻びかけた、それに今年は氣温が割合に暖く最低零下十八度を降らなかつたから昨年よりも

◆餘程美しい見込 であるまた昨今白雲臺下の春色は青い草にも陽炎に洽ねく花はなくとも充分に春の氣分を味はうことが能きる、昨日など殊に暖かくて日中の温度は六十度以上、山麓の牧場には青草の間に牛が遊びまた長閑なる雉子の聲さへ聽える、加五里の櫻は內地のそれと少し趣きが異なつて種類は

◆凡そ四十何種 に餘り專門家の研究にも値ひする、それに此處の櫻花は咲きはじめてから約二週間は順次に綻びるので四月下旬から五月上旬までは充分の觀賞を恣にすることが能きる、猶ほ牛耳洞の櫻も加五里の櫻も共に

◆昔の弓の製造 材料に植えた由緒あるもの櫻花の下に李朝時代の戰さばなしも興多きことであらう

又加五里は京元線蒼洞驛から約三十分間程、牛耳洞を廻れば四十分、京城からは總督府醫院裏手の途を東小門にとれば約二時間で行かれる、鐵道局の臨時列車も近々から運轉し始めるであらう

◉東京花信

□咲き遲れて居た滿都の櫻花が三日前の温氣で一時に眼を覺ました樣に咲き出した十五日土曜日の上野の滿山は九分と言ふけれど一杯に霞立つほどの開き方。

□散らぬ先にと勇び立つたる各方面の觀櫻團の假裝隊やら下戶上戶の花の客で揉み合ふほどの賑ひを呈して早い處はモウ一片二片づゝ風に散りさうな慌だしさを見せてゐる。

□三日見ぬ間のお約束通り上野の櫻花は十六日の日曜頃には濃い花吹雪を降らすであらう、小石川植物園の櫻花は四分の咲きを見せたし四谷見附から市ケ谷見附お茶の水まで御濠端の櫻花は七八分の花をつけた。

□赤坂見附と山王の櫻は六分どころであるが明日とは言はず花のトンネルを作り上げるに違ひない、江戶川と向島はヤツト半開の面白さであるが英國大使館前九段の靖國神社境內は根津權現と共に並二三日が見頃で

□帝大前の櫻も八分の咲きを見せて居る、深川の八幡境內は之迄の櫻の外に本年から移植された櫻樹が花を附け餘程花の雲を濃くする其他郊外到る處の櫻花もモウ先を爭つて咲出してゐる（東京）

◉捕鯨船の遭難

鯨肉十萬片を海中に投棄して離礁す

東洋捕鯨會社長崎事業場所屬運搬船福壽丸は十一日遭難注文津に避難入港したるが同船は四月十日鯨肉外二品計十八萬千九百五十五斤を積載し下關に向ふ途中同十一日午前一時三十分注文津沖北約五浬の地點に於て坐礁し折柄の强風を冒して長箭を解纜し狂濤の內に船體の自由を失ひ止む無く應急の措置として積載し居たる前記鯨肉約十萬斤を海中に投棄し船體の重量を減じ漸くにして離礁するを得一先注文津に避難入港したるものなりと急報に接し長箭事業場よりは同所主任事業夫十數名を從へ捕鯨船天富丸及び第五東鄕丸の兩船を以て注文津に急航したるが破損は輕微なれば多分獨航し長箭に向け歸航すべし（元山）

◉強盗首魁逮捕

拳銃を以て抵抗す

數年前より平安北道碧城、昌城、宜川、新義州の各地を荒もしたる强盜首魁鄭應貞は其の本據宜川郡山面に於て義州憲兵分隊池田特務外二三名の爲めに逮捕されたるが曩きに碧城、昌城等にて連類者を逮捕し爾來極力搜査中の處神出鬼沒巧に其の姿を隱し或は對岸に到り又は朝鮮地內に入込み居たる處三月下旬漸く其の所在を突止め同月二十九日の深更不意に襲擊して之れを捕へたり韓は極めて强力にして拳銃に裝塡して携へ抵抗したるも遂に逮捕し義州憲兵分隊に引致目下取調中なるが圖々敷態度にて泰然自若を裝ひ居れり

◉二人強盗就縛

京畿道金浦郡々內面豊舞里鄭求道（二三）開城郡進鳳面炭洞玉泉寺內僧侶李文議の兩名は大正四年四月九日夜金浦郡栓丹面不老里尹廷燮外一箇所に浸入して强盜を働き爾來行衛不明なりしが此程飄然歸宅し居れるを金浦署に於て突き止め兩名共自宅に於て難なく取押へられたり

□胡蝶の眼

■花の上に欲く働く眼■　■七色以外の色を見る■

面白の春が來ました色さまざまの胡蝶にとつての世界が來ました胡蝶の小さな眼は又色さまざまの花の上に欲くも働きます此胡蝶の小さな眼については科學上の研究から致しますと不思議なことが澤山あります胡蝶の、美しい天人のやうな姿に就いてはよく知つてゐる皆さんにもその

◆天人の眼の 不思議は未だお存知の方はありますまい多くの動物殊に昆蟲のうちでは人間には解らない光や音を聽く鋭い眼と耳とを持つてゐるものが多いのですが殊に近頃米國の昆蟲學者のトリースタン博士の研究によりますと其のうちでも胡蝶の眼は一番鋭いのださうです胡蝶の眼は太陽のスペクトルのうちで

◆人間の眼に 見える七つの色以外の色がよく見えるのださうですこの世界には人間の眼に見える以外に未だ／＼無數の異つた色があるのです唯人間の眼はその色を作す光線を神經に感ずることが出來ないのであります然るに胡蝶の眼はこの人間の神經に感じない色のいろ／＼を感ずる鋭い神經を有してゐるのです蝶の研究によりますと胡蝶の眼に最も發達してゐるのは色の感覺であつて胡蝶の生命は

◆全く此の色 のするどい感覺のみで生きてゐるのださうです胡蝶の眼を見て見ますと誰れでもお解りになるやうに其小さな頭全體が殆んど眼です此眼は唯一つの眼ではなくて幾千と云ふ程の小さな／＼眼が集まつてゐる上に頭尖端には二つの特別な眼がありますこの鋭い而して無數の眼でもつて胡蝶は自分を養ふために

◆花を尋ねて 舞ひます而もその花を見る眼は以上の通り人間の眼にて見えないさま／＼な色を見る力を持つてゐるとしますと人の眼に見ゆる花の色と胡蝶の眼に見えてくる花の色とは異つてゐねばなりません、私達の眼に汚たなく見ゆる花でも胡蝶の眼にはどれだけ美しく映つてゐるかゞ解りません考へて見ますと不思議です、私達が面白の春だと見るこの色さま／＼な春の景色が胡蝶の眼には私達が見るよりも更に私達の想像も及ばない美しさを以て展開されてゐるのです

◉失戀男の自殺未遂

京城通義洞金在憲弟變種行商金聖圭（二二）は十四日午後五時頃自宅溫突にて苛性曹達を飮ぎて自殺を企て瀕死の狀態に陷り居るを家人が發見し急報に依り鍾路署より係員出張檢視せしが同人は曾つて某子爵の下女と私通したることあり其間何等かの事情伏在し居るもの、如く其れを悲觀して覺悟の自殺を企てしものならんと目下醫師につき加療中

◉絞殺し干潟に埋む

京畿道振威郡西北面玉吉里金姓女（四〇）は寡婦の身なるに同里の方學甫（二〇）と私通したる結果姙娠して女兒を分娩したるも其措置に窮したる結果夫學甫、實母徐姓女（六〇）弟金基贊（一七）等と共謀し三月二十日夜該嬰兒を絞殺して自宅西方約四丁の海岸の干潟に埋沒したること發覺し振威署の手に探知され何れも檢擧されたり

◉債券を種に詐取

京城樓下洞生れ朴容柱（二二）なる者は昨年六月頃より南大門通商業銀行代理店賦販賣部の外交員として勤務中債券月賦販賣を口實として同年七月中李行斗なる者より額面十圓券一枚を十箇月賦の契約にて即時申込料と稱して金一圓餘を詐取したるを手初めに外數名より同樣詐取したること發覺し龍山分隊に於て目下取調中

◉仁川聯合運動會

仁川各學校聯合春期大運動會擧行に付き十五日午前十時より各校長學校組合議員及び保護者會役員等府廳樓上に參集諸般の打合を爲したるが其結果五月十四日第二日曜日を期し例年の通り仁川觀潮所下に於て催す事に決定し同時に運動會設備委員として組合會議員校長及び保護者會役員を幹事に稻田、大石、坂倉、森、北島、熊谷、牛島の諸氏を推選したり

◉古物買ひの窃盗 近來の暖氣に伴ひ留守居勝なる家多き爲摸つ淺ひ專門の鮮人等は古物買ひの風を裝ひて手當り次第の品物を持ち去るもの少からず住所不定の文聖哉（二四）は內地人宅を專門に荒し廻る曲者なるが本年二月三十日以降前後七回に亘り古市町河井某方にて洗面器一箇（二圓五十錢）を攫つ拔ひたるを初めに外六箇所にて靴、バケツ、石油空罐等を窃取したる爲め鍾路署に檢擧さる

◉規則違反二件 仁川龍里百七十五番地訴訟代理人李容馨（三三）は其筋の許可なくして四月一日午前十時頃自宅に於て龍里百二十五番地[illegible]始興郡東面上道里金[illegible]に對する爲替券盜難事件の告訴狀を代書したる廉により代書業取締規則違反として四月十五日科料二圓に又龍岡町二十番地運送業宮成茂三郎（四七）は四月七日午後五時卅分住所氏名を明記せざる荷車を自家雇人金德元（一一）に曳かしめ外里巡査派出所前道路を通行せし爲荷車取締規則違反として四月十五日科料五十錢に何れも仁川署に於て即決に處分されたり

■鍾路通行人車別 三月中鍾路通行人車別を調ぶるに日本人南行千百六十八人北行六千二百一人鮮人南行一萬五千五百五十四人北行一萬五千四百八十四人支那人南行一萬八千九百四十二人北行一萬七千五十三人合計七萬七千四百三十八人人力車南行五千百八十四輛北行五千百五十一輛自轉車南行一萬二千三十三輛北行一萬二千二十輛合計一萬二千七百八十八輛なりと

◉無證で密航 仁川港駐留中の仁川外里中村圓一郎所有帆船第六開運丸乘組船夫金相根（三三）は旅券を携帶せず密航せんとしたる廉により仁川署にて十五の處分を受けたり

◉玄關口で窃盗 京城西小門町印刷職工李秀澤（二四）は四月十一日正午過南米倉町某外人宅に印刷物の注文取りに行き玄關口にて洋傘一本（三圓七十錢）を窃取して所持しゐたるを本町署の巡査に取押へらる

◉疑似猩紅熱 京城義州通一丁目下田きこ（三〇）は十五日午前檢診の結果疑似猩紅熱と判明し順化院に入院加療中

纛島の移民生活（一）

陽炎燃ゆる移民村　四五百圓で地主樣

青い麥畑、雲雀の聲、廣い漢江河畔の纛島の村には陽炎が燃える。それに昨今萌りそめた楊柳の樹の間には白い幅廣い漢江の流れが見える。道の左右はまた苹果、梨、桃、葡萄の果樹畑つゞき、亞鈴形や藁葺の人家の間には洋風の東拓出張所や、勸業模範場の建物も見える。長閑な峰のごとなりに綻びかけた梅の蕾

□纛島の春光は 正に此の平野に滿ち渡つてゐる。併し纛島で最も興味を惹くのは其處此處に點在する移民の村であらう。去る明治四十三年以來毎年募集されつゝある移民の生活――南洋のゴム事業を説き、北米の出稼を論ずる人も餘りに多く朝鮮を知らぬ。斯く申す拙者も誡らぬ移民の生活を誡られ。東拓會社纛島出張所長松田氏は曰ふ。凡そ氣候といひ風土と云ひまた道中の短距離なことといひ朝鮮ほど

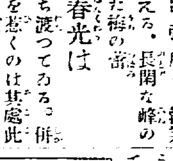
□日本人の移住 に適當な土地は無からうと思ふ。東拓の移民は現今全道を通じて總數二千八百餘戶に上つて居るが、此の人達は何れも新日本の開拓に從事しつゝある奮闘家で、何れも將來わが子孫の土著すべき土地として額に汗しつゝ勞働するのは愉快である。私の考へでは同じ一生を暮らすなら狹い內地に居るよりも廣い

□朝鮮で大地主 となつた方が面白いと思ふ。移民は素より徒手空拳の人では會社との契約が成り立たぬけれ共、眞面目で辛抱强い人ならば先づ四五百圓の金さへあらば會社の第一種移民となれるで以て二町步以內の地主となれる。

□一反步の價値 に過ぎないが、朝鮮に來れば此の金で四百圓と云へば先づ內地の土地でそれに所によつては氣候も內地より數等優れた處さへあるから、同じ事なら朝鮮に渡來して新運命を開拓した方が怎麼ものだらうか併し內地の人はそのなつかしい鄕里を離るゝが却々容易の事では無いらしい。來て見れば何でも無いとが內地の人には

□却々の大問題 に考へられて居る。現に或る移民の如きは始め約束した仲間が皆尻込みした爲め、唯の一家で淋しい鮮人部落に入り込むだが、始めは事情の不案內な爲め、何事も頗る不安心で困つて居つた。家は鮮人部落とかけ離れて建てたけれ共、時々黑い帽子のヨンガミさんが、のそ／＼入り込むので家族なども吃驚して居たが其間にたん／＼馴染が出來た附近の鮮人が手傳に來る話しになる。今では村

□村長さん同樣 に立てられて、肝腎の面長はあつても寧ろ此の人に任する始末。それに內地のやうに面倒な親戚交際もなく身裝も要らず、內地に居るより餘程呑氣で幸福だと云つて居る。兎に角現今吉者などの不自由は全道何處に行つても些つとも御心配御無用。たゞ內地の人は奮發し得ないだらうか—と成程纛島の移民村を見ても那麼感じがないでもない。



野田東拓副總裁は十四日午前纛島長安坪の開墾地を視に往つた▲纛島の春色は野にも山にも滿ち／＼て青い麥は青ふも更なり遡る柳も長閑であつた▲大きな高い堤防の上を副總裁と闘屋土木課長が揃ひも揃つた大男で陽炎に縺れながら行くところは一句なかる可らざる光景であつた▲此の日はのんびりした春の日な向ふの嵯峨山ではボーン／＼と爆音が響く▲彼處にもタングスを掘りよると副總裁がニコ／＼するとあの山は確に怪物ですよと松田所長が合槌を打つ▲ウム大治が恰度あんなおやかな山だから何が出るかも知らん▲此の附錦江の砂を掘つて見たら砂金が出るかも知れんぞと言ふたら小原君が多少は痕跡がありさうだと大笑ひ▲それから漢江の水らんさと種々と大牟田の話から路の側へ來ると夫婦喧嘩もすぐ直るが百姓の水喧嘩も雨さへ降りやあすぐ納まるは常句▲あの向ふの山は何うしたのか彼處には早う樹を植ゑるが好い、俺の頭のやうで見ともないぞ

▲大正館 『うき世闇』に大好評を博した大正館は十六日より其主なる番組は▲新派悲劇[illegible]▲活劇伊太利アンブロシオ會社傑作[illegible]▲喜劇[illegible]五十五場

▲壽座 自然劇團改め改正義團の一行再たび舞臺に現れ十四日は顏見世とあつて無料十六日よりは大阪毎日新聞連載小說『うき世闇』を十均一にて觀覽に供すると云ふ

◉正誤 昨夕刊二面欄『憲兵拳銃情死』の記事中『宇野普藏』は曾て新義州昌城郡憲兵分隊の馬丁を勤め居たるも素行修まらざるため二箇月以前解雇されたるものにて勿論同憲兵隊とは何等關係無きものゝ由に付き茲に正誤す

府內納稅者ニ告ク
京城府內居住ノ者ニ對スル納稅告知書（府稅及學校組合費）ハ大正五年度ヨリ前ノ通リ京城郵便局ヨリ送達ス
右郵便ニテハ稅金ヲ受領セス納稅ニ關スル注意ハ記載セル納稅告知書ヲ期ニ於テ注意シ納期ヲ過誤ナキ樣セラレタシ
大正五年四月　京城府

京城府 郵便局 約束 京城府

京日內案
普通（一回前金三十錢無割引・一週前金五錢無割引・一回每に金五錢割引）
番外（一回前金六十錢無割引・一週每に金五錢割引）

女工採用ス 尋常小學校卒業者ニシテ年齡十五歲乃至二十歲ノ者希望者ハ自筆ノ履歷書至急提出スヘシ 大正五年四月 總務局印刷所

◉古本買受 小說文學書辭典 京城本町二丁目 二五二七 ウツボヤ書店 88
◉貸家 黄金町三ノ三〇二番 黄金湯 向日本建閑静にて官吏に適す 水道付 家賃十六圓 電九八九番 犬島 213
◉古本買受 ピストル モーゼル十連發ブローニング八連發最新式彈丸附賣却御望の方は 龍山電一三五へ 彌生町三泉利 214
◉古本一品 御一報次第 即刻參上 電話二七八一番へ ▲京城本町四 書肆 群書堂 40
◉店員及子守入用 下子守は小娘に限る 店員は十八歲以上 共に要保證人 京城明治町二瀨川中央堂 電一二八九 205
◉賞金附懸賞工及從弟至急募集希望者は 本人來談あれ ◉村木時計舖金工部 電話長四七一番 205
◉古本なら京城本町一丁目 電二六三六番 野村書店 買入誠實 御一報參上 16
◉明治町 フランス 致命石門前 電話二五九五番 ▲ねつ ぎ ▲うちみくじき治療 荒川仁壽堂 33
◉古本買入 ▲御一報參上 ▲地方送金 京城本町二 森田文英堂書店 17
電話八六五
◉出登御案內 ◉寡婦子持 ▲洋食 ▲親子丼 ▲御酒 旅館いらず 漢陽公園 敷嶋 拾錢均一 215
尋犬 牡一歲 全身黑茶色 鑑札一番號四〇八八 右十一日より行方不明心當りの方は御一報を乞ふ 相當の謝禮す 京城南米倉町二一五 奧田 212
對文鮮日 朝鮮鑛業令 解釋 鑛法 照式地圖挿入 定價六十錢 郵四錢 京城北米倉町一四二七九番 振替京城三四 青邱書房 217
▼空氣輪新車 ▲賃金普通同樣 ▼當組特色親切本意 挽子日入 東京荷著 本町三丁目 永樂町入口 電話二六八九番 岡本組 車帳場 216
▼讓店アリ▲ 各種商業に好適の店舖 陳列戶棚 造作付 裏に完全なる倉庫 設備あり 黃金町二丁目 要用 所姓名社 71
電避雷針 材料器具 工事 迅速 廉價 販賣 施工 京城明治町通 加藤商會 電話一四七二番 77

分析 鑛業事務所 京城 黃金町 高山鑛務所 電話一九二番 419
株 公債 株式 世界は空前の大戰爭 富豪となるは今 現物問屋 京城本町三 田中吉商店 電話九九三番
各種 萬年筆修理應需 地方よりの修理は往復郵送料御負擔 次第見積差上候 京城若草町一六四 秋田屋地方部 13
◉はねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依賴に應す 明治町 柔術道場 15
年金 恩給證書等御預り金融希望者へ 其他諸公債債券に對し低利 即時立替 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋 本店
◉外勤社員採用 但經驗ある者希望者は履歷書持參 來談 大同生命保險會社京城出張所 京城南大門通二丁目 202
子供入用 年齡十三歲以上十五六歲迄にて小學卒業程度の者市內に確實なる保證人を要す但內地人に限る 京城本町一丁目 ますや吳服店 204

新刊書御案內
◉中山大納言 五一郎 九〇
◉世界的野心家 カイゼルの裏面 九〇
◉死後は如何になる 一、二〇
◉紀行文集 旅かゞみ 五〇
◉故鄉 他 三〇
◉十人十色名物男 一〇
◉閑出鱈目草 一〇
◉撰註白樂天詩集 一〇
◉和歌の作りやう 六〇
◉漱石全集 想華及小品 一、五〇
◉東京市內先儒墓碑錄 五〇
◉禪と瞎力養成 八〇
◉立身と姓名と人の運 五〇
◉處世生活三十年 四五
◉國語寶鑑 七〇
◉佛教心理の研究 二〇
◉英文和譯の基礎 六五
◉民政史 一五
◉衞生法規類集 全 八〇
◉醫の字典 九〇
◉貸付名義と最後の手段 六〇
◉廣告カットと廣告文句 三〇
大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番

防水布雨着 防水布雨着問屋 東京市京橋區南鍋町 見本附定價表無代進呈 福田豊三郎商店 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五

食料品 地方の御得意樣方には振替京城一番に御拂込被下ば料金不要 川西商店 卸部 小賣部 電話 一三六七番 一二七番 振替 千二百番

千生瓢 (184)

須藤南翠作　向井年峰畫

小牧山(二)

「勘右衛門在城ならば、箇様に輙く落城は致すまいが、運悪く彼は不在でおざつた」

信雄は飽まで高之を愛する餘り、許期に及んでも彼が武勇を傷けまいとした。家康は目を瞑らいて

「何、城將不在と仰するか。何れへ參つておざるか?」

「一鬢の古城危しとあつて、彼處へ加勢に遣はした處、不便にも歸るさの途上、不慮の横死を遂げておざるわ」と信雄は愁然とする

「去りながら、中川織部へ應援の留守は、定めて然るべき大將を詰めらし勢を増させられた事でおざらう。其の上の落城とあらば、味方の不運、今になつて致し方おざるまい」

家康は過去を語る間も、速かに將に來たらんとする大戰の運籌が忙がしかつた。

信雄は己が手脱りを冷笑られるやうに感じて、流石に顔を赧くした。

「徳川殿、敵樂山に加勢致さば、一大事と存じたに依つて、敵を取圍むやう申し付けておざつたが、彼方の急を思ふ餘り、まだ犬山へ援兵を送らぬうちに、蘭も犬山も、共に喪うたのでおざつた」

是丈が自身の不念であつたかのやうに、信雄は分疏を試みたが、家康は唯だ笑つてゐた。

「犬山を抜いたとあらば、定めて池田の入道でがな。彼の入道はなかなかの古兵と申し、殊には犬山は多年の領地でおざつた。定めて家康此處へ發向致したと承はつて、さらば犬山の固めが固にならぬうちと、易々手を以て地下人どもを語らひ、手引致させたことゝ存ずる。此上は犬山を見捨て、之に對する好き陣地を得ねばなり申さぬ」

斯う言つて直ちに地圖に目を落す家康の顔を、信雄は覗いて目皮つてゐたが、如何にも感に堪へた様子で

「懇き入つた御眼力ぢや。御明察の如く昨夜半に地下人共内應致して、舟を以て池田勢を引き入れ、今曉遂に落城致いたさおざつた」

「御賞讃で痛み入り申す。斯程の事は弓矢取る程の者の、何人も思ひ到る所でおざる。勝入既に犬山を乘り取つたとあらば、金山の森武藏守(長可)も此は女婿なれば申すまでもない。郡上の遠藤但馬守(慶隆)も、人員引具し驅せ參じて、備へは益々堅固に相成る事と存ずる。此上は速かに之れに應ずる用意を致さねばなり申すまい」

家康は犬山の敗報にのみ氣を燥つ信雄を、强て軍議に立會せて、差當つて急務を議する事とした。

「卿にも御思慮在はさうと存ずるが、唯今心付き申した事、家康より申し述べたうおざる」

禮儀の厚い人だけに、先づ主將たる信雄の許しを得ようとした。信雄は何の分別もなく

「兎角は徳川殿の御賭をと存ずる。何なりと共仰せ聞けられい」と言つた。

「差出したる儀ながら、軍議なれば許させられい」と家康は式代して

「勝入犬山に取り籠つた上は、早速人數を出いて、此邊四五里が間は、神社佛閣、民家の限り燒き拂うて、秀吉の大軍を相待つ事と存ずる。當城よりも人數を出いて、之を妨げ申すべきは勿論ながら、茲に家康が懸念に堪へぬ所は、犬山諸洲お聞の地下人共が心おざる。諸洲は織田殿直々の御支配、續いて卿の御領國と相成つたれば、疑ふまじきに似たれども、池田も織田殿譜代の侍、殊には多年の老功おざる。民百姓も其名を知り、其徳に懐きたるやも知れ申さぬ。犬山は新領の事、既に境内に手引き致いた程、敵思を懐ふ者おざれば、猶以て油斷致し難い。卿にも左樣思し召されぬか」と陳べ立てた。

「實に、實に。我等も左樣存じ申すおや」と信雄は首肯する

「左樣おざるに於ては、速かに彼等より人質を取らせられい。是れ差向の急務おざり申すぞ」

家康は底力のある聲で、截然と説き勸めた。

□オンドル會詠草

温突

温突を漏る歌哀しと聞く馬上　兎園

狗肉鬻ぐ温突の灯に説く聖書　同

温突の娼家家並に聞く胡笛　同

石器珍らと温突に夕べ客となり　同

軽き草臥れ酌む温突の我家かな　鬱王鬼

厩の焚やら温突の火もや嘶れて　同

力一ぱい温突で泣く子が太り　同

温突の夕闇に銅壺沸るのみ　鴨原

温突の焚口の松葉掃き寵る　同

温突の障子にうつる我影よ　同

子等の寝息が安く温突焚きたり　よし子

創業三百有餘年
日本一
清酢 マルカン印
各地到る所の酒醬油店に販賣せり
特約店 日本醬油株式會社出張所
京城太平通二丁目 電話二四五番

店の忙しき温突に夕餉迫りたれ　同

雪の山河眼にさき温突に寢て　浄楼

柿

數壺きて畑となる柿に提見ゆ　鴨原

軌道下の家並揃はぬ柿赤さ　同

女客に柿剝けば二度の雨となり　同

東京林露竹先生選
九十會第二回撰句

舟に寢て夜すから千鳥聞く夜哉

千鳥鳴く島に灯のまたゝける

辿り行く嘯の浪邊や鳴く千鳥

入り船の着くに間もなし鳴く千鳥

ごつと落る音凄しき鮫の聲

保不天和遜　々岐志山郎

新刊紹介

時雨屋雪見に酒の資切れり

雪深き一筋道の山家哉

年皆の念佛唱ふ爐邊かな

揺り出た猫のまた來し爐邊かな

針の手をやめて爐邊の話かな

うたゝ寢の夢に思ひ起されしこたつ哉

兄弟の飛團引合ふ炬燵哉

山茶花の低き垣根の茶室哉

山茶花や長者の家の垣根哉

ほろ\/と山茶花散る小庭哉

人　千鳥去つて夕風寒き浪邊哉

地　山茶花に籠ふくるゝ日暮かな

天　鬼た防ぐ人絶えてなき深雪哉

▲英雄時代(四月號)十二錢東京市赤坂區青山南町六の四七英社

▲土木建築工學(二ノ四)十八錢東京市日本橋區本石町一の一北社

▲農事新報(一の四)六錢東京府内藤新宿町大日本種苗株式會社

▲圍碁虎の巻(四の四)二十錢東京市芝區白金三光町四六二日本社

▲月刊日本(五の四)五錢東京市小石川區久堅町三三大日本教育會

▲養鷄指針(四月號)九錢大阪市南區生玉筋分町四二帝國養鷄協會

▲新國民(四月號)三宅雪嶺、寺崎、浮田、佐々木、金子諸氏の執筆になるもの十數篇東京市神田區駿河臺袋町一大日本國民中學會

▲朝鮮寫眞畫報(一週年記念號)開卷先づ牛耳洞花園の寫眞其他各時下の圖なる春色に心ある者は踏襲記念日に於ける龍山練兵場當日の壯快なる觀物を見るが如く朝鮮の古き藝術は朝鮮に於ける珍品を集めたり其の他見元朝鮮朝鮮の寫眞數多を載せたり(三十錢京城大和町一の四八朝鮮寫眞畫報社)

▲長篇『天一坊村井長庵』惡人か義俠か怪雄か曲誤か天一坊及び村井長庵の性行は此の生立より死に至る詳細の事實を具して編しあり價三十錢東京市日本橋區本町三博文館

讀者の領分

又の一靑年樣御同情の程有難く厚く感謝致します本欄を借りて私の名前を申上げることは一寸憚りますが今は少さきオンドルに自炊生活をしてわずかばかりの商賣をして居る者ですけれ共親もなく兄弟もなく又親しき友とてもなき孤獨!眞の孤獨の私は遣瀬ない心の寂しさに樂しかるべき春も徒らに煩悶の日を重ねて居ります何うかまだ見ぬ友として永久に御交際下さいませ(一靑年)▲私はある役所の給仕でありますが私には夜學に通つて勉强する財力がないのですそれで私は講義錄で中學科を勉强しようと思ひますが何を取つたらいゝでせうか本紙で皆さんの御教示を乞ふ(一給仕)▲南鮮多島海島は朝鮮の寶庫であるが島渡行きにくいのでまだ餘り人が知らぬ其處で其の開發の準備として何處かで多島海視察團を計畫しては如何(實業家の一人)▲今や年中の好時季である京城の健兒大に鬼狩でもやつては何うです(熊本縣人)▲まだストーブを据えてある處があるが大概なら最う取りのけては何うだらう煙突掃除が大抵の家に行き屆かないので風の度に煤の雨が降つて近所は大迷惑だ誰れも之れには同感であらう(衛生家)▲南山の散步者も大分多くなつたが何うも草や木を痛めて困る見付けた人には懸賞で惡戯者の取締でもやらねばなるまい之れを見ても京城人に公徳心の譲い事が分る嘆ずべしだ(道德家)

商況

下關期米特電

[illegible]

やッぱり
守田寶丹が一番よい!
時代と共に色々な清涼劑が流行するので迷ふ人もあるが
懷中藥としては品質本位の
守田寶丹が一番よい
東京下谷區池ノ端仲町
本舖 守田治兵衛
振替東京二九八五番

分蜜糖
精製糖
明治三十三年設立
資本金二千七百五十萬圓
登錄商標
臺灣製糖株式會社
臺灣打狗
酒精
糖蜜
同 東京事務所
日本橋區本石町一丁目廿二番地

咲競ふ櫻の花の美しさをその儘の
濃艶で而も意氣に垢ぬけた化粧が出來る
今、東京で大評判の、何誰の肌にも合ふ
ホーカー白粉
ホーカー白粉は本舖試驗部で種々研究の結果、創製した純無鉛ねり製白粉でムいます。殊に本舖新發明の獨特な美白原料を溶し込んでありますから、如何なる荒れ肌にも思ひの儘に、ノリノビ好く濃淡自在のお化粧が出來ます。その上、斑になつたり、お化粧崩れする虞れなく、非常に美しく、生々した艶のある白さにつき、キメも細かに生地の白さも増す、全く他に類のない白粉でムいます。
一瓶三十五錢
送料 内地八錢 海外廿錢
東京和泉橋
堀越嘉太郎
振替東京三四四六

大阪商船仁川出帆

○外國航路(遠洋航路を除く)開始の時は五分引を以て運賃切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
- 油頭丸　四月廿四日
- ×須磨丸　四月十七日　午後五時出帆
- 天智丸　四月二十日

○木浦、釜山、嚴原、浦項、長崎行
- ×信濃川丸　四月廿三日　後二時出帆
- ×信濃丸　五月十一日　後二時出

○鎭南浦、大連行
- ×信濃川丸　四月十八日　後二時出
- ×信濃丸　五月六日

○大連直行
- ×福州丸　四月十九日　正午出帆
- △湖州丸　四月廿八日

○群山、釜山、鎭海行
- ×福州丸　四月廿四日　午後二時出帆
- △湖州丸　五月三日

○清津、浦潮行(元山出帆)
▲印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
- ▲宮島丸　四月廿九日　午後二時出帆
- 平安丸　五月五日

○上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
- 城津丸　四月廿三日　前十時出
- 湖北丸　五月四日

御注意　○本航路ハ出帆日ヲ變更ス事アリ ○貨物ハ本船出帆前日正午迄
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行乘客に對し當分門司より割引を以て通券發賣仕候

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
- 三河丸　四月廿二日　正午出帆
- 相模丸　五月五日　正午出帆
- 高砂丸　五月十一日　正午出帆

仁川港町　堀回漕部　電話十一番

金泉自動車發着時間表

[illegible]

織居自動車支部

金泉電話四八番

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
- 大正丸　四月　日　後四時出帆
- 大有丸　四月廿四日　後四時出帆
- 神代丸　四月二十日　後四時出帆
- 蛟龍丸　月　日　後四時出帆
- 君が代丸　月　日　後四時出帆

仁川港町　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　四月　日後五時出帆

○元山、清津、浦鹽行　立神丸　月　日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行　小倉丸　月　日後五時出帆

○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　四月廿六日後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三豐平丸　月　日後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行　第三豐平丸　四月　日後六時出帆

○若須京、嚴原、壹岐、博多行　天兵丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆

釜山　大池回漕部

朝鮮郵船

- 全羅丸　五月二日
- 京畿丸　四月廿二日
- 黃海丸　四月廿六日
- 咸鏡丸　四月十六日

釜山發 (門司より釜山各港經由浦潮行)

- 咸鏡丸　四月廿二日
- 昌平丸　四月廿一日
- 鏡城丸　四月十七日

元山發 (元山より各港經由仁港行)

- 忠淸丸　四月廿八日
- 平壤丸　四月廿一日

元山發 (城津清津浦潮行 復航釜山より門司又は長崎行)

- 永興丸　毎月廿八回　元山發 (北久慈 五里通行)
- 盈德丸　四月十八日　釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
- 江陵丸、襄陽丸　毎日　(釜山・浦項)發 (長生浦、方魚津寄港)
- 三浦丸　四月十七日　釜山發 (長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行)
- 海州丸、統營丸　毎日　釜山發
- 順天丸　三日目毎　木浦發 (各港經由麗水行)
- 慶興丸　四月廿二日　木浦發 (各港經由濟州島行)
- 公州丸　四月廿四日　木浦發 (南多島海列島行)
- 公州丸　四月十九日　木浦發
- 宗信丸　四月十九日　仁川發
- 江原丸　四月十七日　仁川發 (海州、龍媒島、鎭南浦行)
- 晋州丸、麗水丸　四月廿一日、四月十七日　仁川發
- 錦江丸、南陽丸　毎日午前　仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)
- 平安丸　四月廿四日、四月十八日　群山發、若松發

本社 京城南大門通 電話二一九五三三、代理店・出張所 松原運送店

共同汽船仁川出帆

第一大共同丸　四月十九日　後二時入港　四月廿一日　正午出帆
朝鮮陸送主要港間にて旅客運送取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續旅客貨物共通し取扱可仕候

第一阪鶴丸
城津、清津、浦鹽行(元山出帆)　月　日　後九時　出港
第三西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日　前八時　出帆

(元山出帆)
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番)　仁川代理店　山下回漕部
春日町(電話二四四七番)　元山代理店　田口回漕部
南大門(電話二六八、二〇一七)　京城取次店　河村運送店